

能代市教育委員会 事務点検・評価報告書

(令和2年度対象)

令和3年8月

能代市教育委員会

目 次

| | | |
|-----|---|----|
| I | 教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価について | 1 |
| | 1 趣旨 | |
| | 2 事務点検・評価の実施 | |
| | 3 事務点検・評価の方法 | |
| | 4 事務点検・評価の流れ | |
| II | 事務点検・評価の結果 | 3 |
| | 1 学識経験者の総合的意見 | |
| | 2 施策体系と評価一覧 | |
| | 基本目標 1 学校・家庭・地域・行政が一体となった、次代を生きる子どもたちを育むまちづくりの推進 | |
| | ① 学校・家庭・地域の連携協力の推進 | 6 |
| | ② 保護者への学習機会の提供等による家庭教育の支援 | 15 |
| | ③ 地域活動に必要な学習機会の提供 | 17 |
| | ④ 読書活動の推進 | 19 |
| | ⑤ 食育の推進 | 21 |
| | 基本目標 2 豊かな人間性を育む学校教育の推進 | |
| | ① 主体的で創意ある教育活動の推進 | 23 |
| | ② 心豊かでたくましい子どもを育てる指導 | 25 |
| | ③ 基礎学力の向上を図る学習指導 | 28 |
| | ④ 幅広い識見と実践的指導力を培う教職員の研修 | 31 |
| | ⑤ 安全・安心な学校教育環境の整備 | 33 |
| | 基本目標 3 より心豊かで生き生きとした暮らしにつながる学びの場づくりの推進 | |
| | ① 学習の成果を地域に生かす取り組みの推進 | 39 |
| | ② 市民ニーズや地域課題に対応した多様な学習機会の提供と充実 | 41 |
| | ③ 学習を通じた生きがいづくり、仲間づくりの支援 | 43 |
| | ④ 社会教育施設等の適切な運営による、より良い学習環境の充実 | 45 |
| | 基本目標 4 ふるさとの伝統文化の継承と文化芸術の振興 | |
| | ① 伝統芸能の継承 | 50 |
| | ② 文化財保護事業の推進 | 52 |
| | ③ 文化芸術の振興 | 57 |
| | 基本目標 5 スポーツで輝く夢のあるまちづくりの推進 | |
| | ① 学校と地域における子どものスポーツ機会の充実 | 61 |
| | ② ライフステージに応じたスポーツ活動の推進 | 63 |
| | ③ スポーツを活用した地域の活性化 | 65 |
| | ④ 市民が主体的に参画できるスポーツ環境の整備 | 67 |
| III | 教育委員会の運営状況 | 69 |
| | (1) 教育委員会の開催状況 | |
| | (2) 教育委員の活動状況 | |

I 教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価について

1 趣旨

地方教育行政の組織及び運営に関する法律第26条の規定に基づき、効果的な教育行政の推進を図るとともに、市民への説明責任を果たすため、教育委員会自らが、教育行政事務の管理及び執行の状況について点検及び評価（以下「事務点検・評価」という。）を行い、その結果に関する報告書を議会へ提出し公表します。

2 事務点検・評価の実施

能代市では、「学び合う感謝と思いやりにあふれる“わ”のまち能代」を基本理念に、最優先すべき目標を「学校・家庭・地域・行政が一体となって子どもたちを育むまちづくりの推進」と定め、平成30年度から5年間を計画期間とした「能代市教育等の振興に関する施策の大綱」（以下「大綱」という。）を平成30年3月に策定しました。

事務点検・評価の実施にあたっては、この大綱を踏まえ、次により行います。

(1) 事務点検・評価の位置づけ

事務点検・評価は、大綱の進行管理として実施し、第2次能代市総合計画の進行管理と併せてPDCAサイクルを確立し、より効率的な事業進捗を図るとともに、効果的な教育行政を推進します。

(2) 事務点検・評価の対象

事務点検・評価の対象は、大綱の基本目標及び施策の方向性に沿った主な事業や取組とし、その実績や成果を自己点検、自己評価したうえで、課題と今後の方向性を整理し、次年度の目標を明らかにします。

3 事務点検・評価の方法

事務点検・評価は、目標に対する達成状況や成果等を基準に自己評価を行い、「目標を上回る」、「ほぼ目標どおり」、「目標をやや下回る」、「目標を大幅に下回る」の4区分とし、今後の取組の方向性は、「拡充」、「継続」、「廃止検討」、「その他」の4区分とします。

また、事務点検・評価の客観性を確保するため、教育に関し学識経験を有する次の2名の方から外部評価をしていただきます。

| | |
|-------------|-------|
| 秋田大学教育文化学部長 | 佐藤修司氏 |
| 前能代第二中学校校長 | 野村重公氏 |

4 事務点検・評価の流れ

(1) 所管課による事務点検・評価

教育部各課及び施設等は、所管の対象事務について、事務点検・評価案（事務点検・評価シート）を取りまとめます。

(2) 内部評価

所管課がまとめた事務点検・評価案を部内検討し、次年度に向けた課題や今後の取

組の方向性を定めます。

(3) 学識経験者による外部評価

事務点検・評価案に関して学識経験者の外部評価を経て、事務点検・評価報告書（以下「報告書」という。）を作成します。

(4) 教育委員会の議決

報告書を教育委員会に諮り議決をします。

(5) 議会への提出及び公表

報告書を議会へ提出し、ホームページ等で市民に公表します。

(6) 報告書の活用

能代市総合計画の第2期実施計画の策定や翌年度予算編成において、事務点検・評価を踏まえた的確な対応に努めます。

<参考>

地方教育行政の組織及び運営に関する法律（抄）

（教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等）

第26条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務（前条第1項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務（同条第4項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。）を含む。）の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

II 事務点検・評価の結果

1 学識経験者の総合的意見

佐藤 修司 氏

コロナ禍の中での1年間であり、学校教育も社会教育も大きな影響を受け、感染（拡大）防止のために多大な努力が払われたことと思う。このような状況の中でも「学びを止めない」ために多くの取り組みがなされており、関係の皆さんへの敬意を表したい。

いまだに続くコロナ禍とともに、コロナ禍が過ぎた後も続くであろう「新しい生活様式」を踏まえた、新しい教育のあり方も模索されなければならない。第一には、GIGAスクールに代表されるように、ICT、ネットを活用した、デジタル化の促進、遠隔授業・事業の推進である。教職員の資質能力の向上とともに、家庭も含めた環境の整備が必要となる。アナログとデジタル、対面と遠隔、個別最適な学びと協働的な学びのベストミックスを目指していただきたい。

第二に、これから数年はベテラン教員の大量退職と、若手教員への入れ替わりが生じる。若手教員を育成し、一人前にしていくためには、個々に応じた指導の体制が必要であり、メンタルヘルスや、長時間労働などにも注意を払う必要がある。秋田の探究型授業を継続し、高い学力を保障し続けるためにも、校内外の研修の充実、学校経営の充実に努めていただきたい。

第三に、少子高齢化が進み、地域社会の維持・継続が課題となる中で、学校教育と社会教育、学校と地域の垣根を取り払い、オール地域、チーム地域で課題に取り組む必要がある。地域づくりに、学校が積極的に関わることが求められる。地球温暖化が進む中で、地震ばかりでなく、風水害も規模が大きくなっており、地域と一体となった防災体制・教育、さらにはSDGsに向けた教育にも取り組んでいただきたい。

野村 重公 氏

令和2年度は、施策体系の31項目中、9項目が新型コロナの影響により評価を見送る結果となっています。事業を中止、延期、縮小としたことで、過去3年間の平均値との比較が困難になったことによります。非常に残念な結果ではありますが、適切な事業計画が設定されておりますので、今一度現在の計画内容を見直し、実施に向けて準備を進めてほしいと願っています。残りの22項目については、おおむね良好であると捉えることができます。

これまでの成果と課題を生かして取り組んでいる事業としては、第1に、ふるさと教育の推進があげられます。

全小・中学校でコミュニティ・スクールを実施し、学校、家庭、地域、行政が連携して子どもの育成を目指した特色ある教育活動を展開しています。また、「宇宙のまち能代」を推進する活動として、ペットボトルロケット教室、モデルロケット教室等を実施している子ども館の事業、ふるさと能代に愛着をもった子どもたちを育成するための「のしろDEマナブゥ」の事業は、子どもたちの夢を育てるふるさと教育として評価が高いところです。学校教育課と生涯学習・スポーツ振興課でふるさと教育を推進していることもよい点としてあげられます。

第2に、安心・安全な学校を目指した事業を進めていることです。

いじめ・不登校防止対策が各校で徹底されています。未然防止・早期発見・即時対応に心がけ、

子どもによりそう教育が展開されています。教育委員会においても対策が十分に行われており、適応教室「はまなす広場」、「風の子電話」の設置、不登校保護者会の開催、Q-Uアンケートの実施等により、いじめ・不登校問題へ十分な対策を講じています。今後、小学校へのスクールカウンセラー配置が実現できればより一層の対応策となります。また、学校施設の環境改善としては、校舎改修工事、トイレの改修、エアコンの設置等が計画通りに進められており、子どもたちにとって、きれいな学校、住みよい学校が築かれています。

第3に、知・徳・体のバランスの取れた子どもが育成されていることです。

教職員の課題に応じた研修を実施して教職員の資質向上をめざしていることは、子どもたちの学力向上につながっています。全国トップクラスを維持している子どもたちの学力は、学校教育の大きな成果といえます。また、第2次能代市子ども読書活動推進計画による「読んでみて！わたしの推し本」、「能代っ子家読通帳」等の取組、能代市家庭教育支援事業による「家庭教育関係講座」、「ちょこっと家庭教育通信」等の取組、第2次能代市スポーツ推進計画による「チャレンジデー」、「総合型地域スポーツクラブ」等の取組も、知・徳・体のバランスの取れた子どもの育成を目指した取組といえます。

今後、「学び合う 感謝と思いやりにあふれる わ のまち能代」の実現のため、大綱の基本目標の実現のために、一つ一つの事業を充実させてほしいと考えます。そのためにも、PDCAサイクルを重視し、全職員の斬新なアイデアをもって新たな課題に取り組んでほしいと願っています。

2 施策体系と評価一覧

| 基本目標 | | | |
|--|--|------|-----|
| 施策の方向性 | | 対象年度 | |
| | | R 1 | R 2 |
| 1 学校・家庭・地域・行政が一体となった、次代を生きる子どもたちを育むまちづくりの推進 | | | |
| ① | 学校・家庭・地域の連携協力の推進（のしろDEマナブ事業） | A | A |
| ① | 〃（放課後子ども教室推進事業） | B | A |
| ① | 〃（青少年健全育成事業） | A | — |
| ① | 〃（子ども館活動事業） | A | A |
| ② | 保護者への学習機会の提供等による家庭教育の支援 | B | B |
| ③ | 地域活動に必要な学習機会の提供 | B | B |
| ④ | 読書活動の推進 | A | B |
| ⑤ | 食育の推進 | B | A |
| 2 豊かな人間性を育む学校教育の推進 | | | |
| ① | 主体的で創意ある教育活動の推進 | A | B |
| ② | 心豊でたくましい子どもを育てる指導（自己実現を支える生徒指導） | B | B |
| ② | 〃（健やかな心と体の育成） | B | — |
| ③ | 基礎学力の向上を図る学習指導 | B | B |
| ④ | 幅広い識見と実践的指導力を培う教職員の研修 | A | A |
| ⑤ | 安全・安心な学校教育環境の整備（学校安全の推進） | B | C |
| | 〃（就学援助、奨学金貸付事業等の周知徹底と利用促進） | B | B |
| | 〃（学校施設の老朽化対策等の推進等） | A | A |
| 3 より心豊かで生き生きとした暮らしにつながる学びの場づくりの推進 | | | |
| ① | 学習の成果を地域に生かす取り組みの推進 | A | — |
| ② | 市民ニーズや地域課題に対応した多様な学習機会の提供と充実 | B | — |
| ③ | 学習を通じた生きがいつくり、仲間づくりの支援 | B | — |
| ④ | 社会教育施設等の適切な運営による、より良い学習環境の充実（公民館管理運営事業等） | B | B |
| ④ | 〃（図書館管理運営事業） | A | A |
| 4 ふるさとの伝統文化の継承と文化芸術の振興 | | | |
| ① | 伝統芸能の継承 | B | B |
| ② | 文化財保護事業の推進（文化財保護事業） | B | B |
| ② | 〃（檜山安東氏城館跡保存管理事業） | B | B |
| ② | 〃（埋蔵文化財調査事業） | B | B |
| ③ | 文化芸術の振興（市民文化振興事業） | B | — |
| ③ | 〃（文化会館主催事業） | B | — |
| 5 スポーツで輝く夢のあるまちづくりの推進 | | | |
| ① | 学校と地域における子どものスポーツ機会の充実 | B | — |
| ② | ライフステージに応じたスポーツ活動の推進 | B | B |
| ③ | スポーツを活用した地域の活性化 | A | — |
| ④ | 市民が主体的に参画できるスポーツ環境の整備 | B | B |

■令和元年度、2年度事業の評価比較

令和元年度ほぼ目標どおり以上 31/31項目中（100.0%）

令和2年度ほぼ目標どおり以上 21/22項目中（95.5%）

| | R 1 | R 2 |
|-----------|-----|-----|
| 評価対象項目数 | 31 | 22 |
| A目標を上回る | 10 | 7 |
| Bほぼ目標どおり | 21 | 14 |
| Cやや下回る | 0 | 1 |
| D大幅に下回る | 0 | 0 |
| —（評価できない） | 0 | 9 |

事務点検・評価シート

【 生涯学習・スポーツ振興課 】

| | | | | |
|---------------|--|-----|-----|------------------------|
| 基本目標 | 1 学校・家庭・地域・行政が一体となった、次代を生きる子どもたちを育むまちづくりの推進 | | | |
| 施策項目 | ① 学校・家庭・地域の連携協力の推進 | | | |
| 方針・目標 | 自分が住む地域への理解を深め、「ふるさと能代」に愛着をもった子どもたちを育成するため、能代の地域全体を学びの場とした体験活動を中心に事業を推進します。 | | | |
| 事業・取組名 | のしろDEマナブウ事業 | | | |
| 目標値 | マナブウ講座の参加人数で、過去3年間の平均値との比較で平均値以上を目指します。 | | | |
| 事務事業の実績 | <p>(1) マナブウ講座の実施回数及び参加人数 45 講座 581 人参加 <u>過去3年平均値 566 人</u> (R1: 51 講座 664 人、H30: 61 講座 442 人、H29: 65 講座 593 人)</p> <p>(2) マナブウ・イベントの実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ミニマナブウ市 (※中止) ・マナブウ市 (※中止) ・ふるさと学習交流会(学校教育課との共催) (※中止) <p>(3) マナブウ・カードの配布 332 枚配布 (R1: 1,475 枚) ※マナブウ講座を受講した際に配付。児童からデザインを募集し、カードを作成。新型コロナウイルス感染症(以下「新型コロナ」という。)の影響により、大人数が集うマナブウ・イベントが中止されたため、カードの配布数が大きく減少した。</p> | | | |
| 点検・評価 | 対象年度 | R 1 | R 2 | A 目標を上回る B ほぼ目標どおり |
| | 評価 | A | A | C 目標をやや下回る D 目標を大幅に下回る |
| | <p>[説明]</p> <p>マナブウ講座とは、能代の自然や特色を活かし、子ども達が楽しんで体験しふるさとを学ぶ講座。(例: 米代川のカヌー体験、小友沼の野鳥観察、天神工房での木工体験、檜山探訪、ペットボトルロケットづくりなど…)</p> <p>① <u>マナブウ講座の参加人数 581 人(過去3年間の平均値 566 人)</u> 新型コロナの影響等により講座数が減少する中、週末体験活動や子ども館での講座への1回あたりの参加者が増え例年並みとなった。地域資源を活用した米代川での「親子でカヌーに挑戦!」では、カヌーのほか川に棲む生物を調べるなど、例年好評を得ている。</p> <p>② 地域への理解を深めるため、「のしろの宝をさがしに行こう!」を開催。地域ガイドの説明により、きみまち阪など二ツ井地域について学んだ。当日はインターンシップの高校生を受け入れし、子どもの見守りや活動の補助による職場体験を実施した。</p> | | | |
| 課題及び今後の取組の方向性 | <input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> その他 () [具体的な課題及び取組] ① ニーズに応じた事業展開 アンケート結果に基づき、子ども達がやってみたい体験活動を各講座へ取り入れるなど、学校と日程調整を図りながら、より多くの子どもが参加できるような事業を推進する。 | | | |

| | |
|----------------------------|---|
| | <p>②事業内容の検討 豊かな自然、歴史文化等の地域資源を生かしたイベント等の開催により、子ども達が楽しく遊びながら地域を学び、自ら興味を持って取組める内容の事業を検討する。</p> <p>③イベントを通じた事業周知 子どもが参加するイベント等を通して、子ども達に分かりやすいカードの使用方法やマナブゥ市、親子でのしろの宝さがし事業等の周知に努める。</p> <p>④民間団体等との連携 事業の趣旨にあった民間団体（青年会議所等）の講座等と連携し、カードがもらえる機会を増やすとともに、地域全体への理解を広げていく。</p> <p>⑤マナブゥ・カードの使用機会 体験活動や講座に参加し取得したマナブゥ・カードは、ミニマナブゥ市・マナブゥ市で当てくじや景品と引き換えしていたが、新型コロナによりイベント開催の見通しが困難となっている。今後の開催状況をみながら、使用機会を検討する。</p> |
| <p>学 識 経 験 者 の 意 見</p> | <p>○新型コロナの影響は致し方ないところであり、その中でもマナブゥ講座の参加者数が増えていることは特筆すべきところである。マナブゥ・イベントの実施、マナブゥ・カードの配布に向けて、いまだにコロナ禍にあるわけだが、新しい生活様式の中での在り方の模索を続けていただきたい。</p> <p>□市が中心となって行っているマナブゥ講座は、地域の教育力を生かした豊かな体験活動となっています。子どもの豊かな心を育成するためには非常に効果的と考えます。今後もふるさと教育との連携を図り、子どもにとってふるさとのよさを知ることのできる体験活動を展開してほしいと思います。</p> <p>□充実した活動ばかりですので、他の行事と重ならないように事前のすりあわせをお願いします。</p> |

| | | | | | | | |
|---------|---|-------|-------|------------------------|-------|-------|--------|
| 基本目標 | 1 学校・家庭・地域・行政が一体となった、次代を生きる子どもたちを育むまちづくりの推進 | | | | | | |
| 施策項目 | ① 学校・家庭・地域の連携協力の推進 | | | | | | |
| 方針・目標 | 学校・家庭・地域・行政等が協働で、体験活動や見守りなど、子どもを育てる環境づくりに取り組みます。 | | | | | | |
| 事業・取組名 | 放課後子ども教室推進事業 | | | | | | |
| 目標値 | 放課後子ども教室推進事業の一日当たりの参加者数で、前年度以上を目指します。 | | | | | | |
| 事務事業の実績 | 1 参加者数等の推移 (人) | | | | | | |
| | | 令和2年度 | | | 令和元年度 | | |
| | | 学校数 | 日数 | 参加者数 | 学校数 | 日数 | 参加者数 |
| | 平日図書室等開放 | 7 | 1,321 | 20,960 | 10 | 1,754 | 27,550 |
| | 土曜日体育館開放 | 3 | 81 | 1,251 | 3 | 73 | 663 |
| | 夏休みプール開放 | 6 | 76 | 5,695 | 10 | 141 | 8,494 |
| | 週末体験活動 | 7 | 32 | 394 | 10 | 46 | 461 |
| | 総合プラン | 4 | 20 | 242 | 7 | 25 | 382 |
| | 合計 | | 1,530 | 28,542 | | 2,039 | 37,550 |
| | 一日当たりの参加者数 | | | 18.7 | | | 18.4 |
| | 2 週末体験活動の主な活動実績 | | | | | | |
| | <ul style="list-style-type: none"> ・リンゴ摘み取り体験 (淳城西小) ・なわ飾りづくり (淳城南小) ・早朝の野鳥観察 (第四小) ・かかしづくり・飾り (第五小) ・檜山探訪 (向能代小) ・ペットボトルロケットづくり (浅内小) ・クリスマスリース&ケーキづくり (二ツ井小) 実施回数 5回(4校)、4回(3校) | | | | | | |
| | 3 放課後子ども総合プランに基づく取組 | | | | | | |
| | <ul style="list-style-type: none"> ・向能代小 百人一首教室 (5回、延べ64人うち児童クラブ44人) ・第五小 百人一首教室 (4回、延べ11人うち児童クラブ4人) ・浅内小 ハンドメイド教室 (2回、10人うち児童クラブ2人) ・二ツ井小 ハンドメイド教室 (5回、延べ64人うち児童クラブ36人) 運動遊び教室 (4回、延べ91人うち児童クラブ66人) | | | | | | |
| 点検・評価 | 対象年度 | R 1 | R 2 | A 目標を上回る B ほぼ目標どおり | | | |
| | 評価 | B | A | C 目標をやや下回る D 目標を大幅に下回る | | | |
| | [説明] ①放課後子ども教室推進事業 一日当たりの参加者数 R2: 18.7人 (R1: 18.4人、H30: 14.5人) 新型コロナにより学校を休校 (R2. 4. 22~5. 8) したことにより、平日図書室等開放や週末体験活動を中止するなどの影響があったものの、事業全体の一日当たりの参加者数は前年度を上回った。また、体育館体育館開放の参加者数は、令和元年度との比較で588人の増加 (一日当たりの参加者数 R2: 15.4人、R1: 9.1人) が見られ、市外等への外出自粛により、体育館の利用者が増えたと考えられる。 | | | | | | |

| | |
|---------------|---|
| | <p>②講師や安全管理員は地域の方々にお願ひし、地域で子ども達を育てるといふ意識の醸成を図っている。</p> <p>③ふるさと能代を学ぶ体験だけではなく、子ども達が楽しみながら学べるメニューを提供している。</p> <p>④スポ少や習い事のため参加できない児童がいるが、実施日を週末に拘らず、夏休みに実施するなど、参加しやすいようにした。</p> |
| 課題及び今後の取組の方向性 | <p><input type="checkbox"/>拡充 <input checked="" type="checkbox"/>継続 <input type="checkbox"/>廃止検討 <input type="checkbox"/>その他（ ）</p> <p>[具体的な課題及び取組]</p> <p>①学校・家庭・地域の連携強化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子どもの居場所づくり、体験活動を通じた心豊かで健やかに育まれる環境づくりのため、事業を継続。 ・体験活動を通して、大人と子どもが共に学び合う意識の醸成を図る。 ・アンケート等により、子ども達が知りたい、学びたいメニューの充実を図る。 <p>②放課後児童クラブとの連携強化</p> <p>放課後子ども総合プランにおける取組を継続。放課後児童クラブと連携した平日の放課後子ども教室を実施する。</p> <p style="text-align: center;">R 3 実施予定ー 児童クラブ設置校 7校</p> <p style="text-align: center;">（湊城西小、湊城南小、第四小、第五小、向能代小、浅内小、二ツ井小）</p> |
| 学識経験者の意見 | <p>○コロナ禍により日数が減ってしまったことは残念であるが、1日あたりの参加者数が増加するなど、コロナ禍故の現象も見られる。コロナ禍でも学びを止めない努力・挑戦がなされている。引き続き、コロナ禍での、また新しい生活様式の中での事業の在り方を模索していただきたい。</p> <p><input type="checkbox"/>放課後児童クラブ7校が、特色ある活動を進めており、子どもたちにとって楽しい充実した学習の場となっています。今後も、学校・家庭・地域との連携を図った活動を推進するようお願いします。</p> <p><input type="checkbox"/>スポ少や習い事で参加できない子どもに対して、参加できるような手立てを講じたことが評価できます。1日あたりの参加人数が増加したことは、その成果といえます。</p> |

| | | | | | |
|---------|---|--|------|-----------|----------|
| 基本目標 | 1 学校・家庭・地域・行政が一体となった、次代を生きる子どもたちを育むまちづくりの推進 | | | | |
| 施策項目 | ① 学校・家庭・地域の連携協力の推進 | | | | |
| 方針・目標 | 関係機関・団体と連携しボランティアや世代間交流の提供、社会環境づくりなどを行うことで、能代市の将来を担う青少年の自立・成長を促します。 | | | | |
| 事業・取組名 | 青少年健全育成事業 | | | | |
| 目標値 | 中・高生ボランティアの参加割合で、前年度以上を目指します。 | | | | |
| 事務事業の実績 | 1 青少年健全育成事業 | | | | |
| | (1) 「令和2年度能代市青少年健全育成活動方針」策定 広報やホームページに掲載し周知に努めるとともに、重点的な取組としてSNSやネットゲームによるトラブルの防止を掲げ、保護者へ向けリーフレットの配布や講話などを実施し、注意喚起した。 リーフレット配布・・・全小学校のほか5歳児親子相談の参加者 保育所等訪問・・・第一保育所ほか全13施設訪問し、啓発活動を実施 | | | | |
| | (2) 中高生ボランティア活動実績（課関連事業分） | | | | |
| | 課関連事業 | 内容 | 回数 | 中・高校生参加者数 | 前年度の参加者数 |
| | 社会教育参加活動促進事業「みんなでAction!」 | あいさつ運動、高齢者お楽しみ会、非行防止街頭キャンペーン、交通安全うちわ作戦など ※子育て・高齢者世帯訪問、マナブウ市、みんなでアクション（中止） | 4回 | 76人 | 95人 |
| | 命の大切さ事業（子育て支援課と連携） | 0歳児ひろば、サンデーすくすくひろばなど ※おまつりひろば、ちびっこフェスティバル、さんぼえむ夏祭り（中止） | 4回 | 11人 | 48人 |
| | きみまちの里フェスティバル | 物産イベント、マラソン大会（中止） | | 中止 | 55人 |
| | 中高生ボランティア育成（中央公民館） | のしろ子どもまつり、ひまわり号走る、銀河フェスティバル、のしろであいのコンサートなど（中止） | | 中止 | 179人 |
| | | 計 | 8回 | 87人 | 377人 |
| | | 当該年の能代市中・高校生の人口 | | 2,459人 | 2,553人 |
| | 参加割合 | | 3.5% | 14.8% | |
| | (3) 事故防止の看板設置（河川、沼等） 62箇所 | | | | |
| | 2 能代市成人式の開催 | | | | |
| | (1) 新型コロナにより令和3年1月へ延期したが、収束が見られず令和3年8月に再延期した。 | | | | |
| | (2) 記念品は「木都能代」にちなみ木製品とし、成人式実行委員の選定により「秋田杉製スマホたて」とした。 | | | | |

| | | | | | |
|------------|-----------------------|-------|-------|--------|--------|
| (3) 出席者の推移 | | | | | ※R3へ延期 |
| | 対象者 | | 出席者 | 出席率 | |
| R2 | H11. 4. 2～H12. 4. 1 生 | 469 人 | - | - | |
| R1 | H10. 4. 2～H11. 4. 1 生 | 511 人 | 416 人 | 81. 4% | |
| H30 | H 9. 4. 2～H10. 4. 1 生 | 529 人 | 407 人 | 76. 9% | |

| | | | | | |
|-------|------|-----|-----|------------|-------------|
| 点検・評価 | 対象年度 | R 1 | R 2 | A 目標を上回る | B ほぼ目標どおり |
| | 評価 | A | — | C 目標をやや下回る | D 目標を大幅に下回る |

[説明]

①新型コロナにより中・高生が参加する各種イベントが大幅に中止されたため、目標値としている中・高生ボランティアの参加割合の比較は困難であるため、評価を見送った。

②青少年健全育成活動は、SNSやネットゲームによるトラブルの防止を重点的な取組とし、保護者へリーフレットによる注意喚起と家庭での見守りによる適切な利用を推進した。端末所持率が高まり低年齢化がみられるため、幼稚園・保育所等を巡回したほか、講話等により若い親世代への啓発活動を実施した。

③成人式の開催は、新型コロナの収束が見られない中、延期してでも実施したいとの意見が多かったため、令和3年1月へ延期、8月へ再延期した。

課題及び今後の取組の方向性 拡充 継続 廃止検討 その他 ()

[具体的な課題及び取組]

①中・高生ボランティアの参加促進
 新型コロナの影響により、活動機会の減少が見込まれるが、関係機関・団体と連携し、中・高生にボランティアの機会を提供しながら異世代間交流や社会参加することにより、青少年の自立・成長を促します。

②関係機関との連携
 ・引き続き関係機関や団体と連携しながら、青少年健全育成活動に努める。
 ・能代市民会議等の会員の高齢化が懸念されており、中・高校生へ非行防止キャンペーン等への参加を働きかけ、世代間交流を図るとともに、活動を通して将来地域を支える若者の育成や互いの活動が充実するよう支援していく。

③成人式の開催
 新型コロナの影響により、県内外から多くの若者が集う成人式の開催が困難となっている。新型コロナに配慮した安全な開催方法について、あらゆる検討が必要となっている。

学識経験者の意見

○コロナ禍による中止、回数・参加者数減少は致し方ないところである。引き続き、コロナ禍及び新しい生活様式に対応した在り方を追求していただきたい。成人式なども、若者の力を活かして、遠隔、デジタル、SNS を活用した方策も検討していただきたい。

□新型コロナの影響により実施できなかった事業がありますが、目標に応じた計画は十分できていると思います。来年度の実施に向けて計画を見直し、準備を進めてください。

| | | | | | | |
|---------|--|--------------------|-------------|-------------|----------|----------|
| 基本目標 | 1 学校・家庭・地域・行政が一体となった、次代を生きる子どもたちを育むまちづくりの推進 | | | | | |
| 施策項目 | ① 学校・家庭・地域の連携協力の推進 | | | | | |
| 方針・目標 | 市民の興味や関心を高めるような、施設を利用したイベント・講座を提供し、子どもから大人まで幅広く気軽に交流できる子ども館を目指します。 | | | | | |
| 事業・取組名 | 子ども館活動事業 | | | | | |
| 目標値 | 講座満足度アンケートの、「満足」「やや満足」の割合で、90%以上を目指します。 | | | | | |
| 事務事業の実績 | 1 講座満足度アンケート【5段階評価で平均4.84(4.76)】 | | | | | |
| | 項目 | 満足 | やや満足 | ふつう | やや不満足 | 不満足 |
| | 人数(人) | 433(429) | 45(62) | 12(29) | 1(1) | 2(1) |
| | 割合(%) | 87.8(82.2) | 9.1(11.9) | 2.5(5.5) | 0.2(0.2) | 0.4(0.2) |
| | ※()は元年度数値 ・「満足」「やや満足」の割合 96.9% (94.1%) | | | | | |
| | 2 来館者の推移 | | | | | |
| | 区分 | 2年度 | 元年度 | 30年度 | | |
| | 総来館者数 | 22,051人 | 31,480人 | 43,864人 | | |
| | プラネタリウム観覧者数 | 4,275人 | 5,580人 | 6,846人 | | |
| | 事業活動参加者数 | 214件、3,679人 | 259件、3,582人 | 313件、4,201人 | | |
| | プラネタリウム団体観覧者数 | 40件、1,250人 | 49件、1,607人 | 56件、1,688人 | | |
| | 3 イベント・講座等実績 ※()は元年度実績 | | | | | |
| | (1) 主なイベント・講座 | | | | | |
| | ・ペットボトルロケット教室 | 7件、60人(3件、49人) | | | | |
| | ・モデルロケット教室 | 6件、71人(5件、71人) | | | | |
| | ・「はやぶさの日」イベント | 4件、86人(3件、130人) | | | | |
| | ・自然観察会 | 2件、17人(4件、34人) | | | | |
| | ・風の松原チャレンジ! | 2件、13人(4件、34人) | | | | |
| | ・かがくあそび | 13件、186人(11件、273人) | | | | |
| | ・ロボット・プログラミング講座 | 30件、208人(12件、101人) | | | | |
| | ・星空観察会 | 4件、62人(4件、77人) | | | | |
| | ・サイエンスポケットのおもしろ科学実験 | 2件、42人(2件、48人) | | | | |
| | ・わくわくミニ工作 | 12件、102人(31件、504人) | | | | |
| | ・コズミックカレッジ | 1件、19人(1件、37人) | | | | |
| | ・マジック・サイエンス(旧・とびだせ科学) | 1件、16人(4件、109人) | | | | |
| | (2) 特別イベント | | | | | |
| | ・「はやぶさの日」イベント プラネタリウム無料投映 | 9回、154人(10回、143人) | | | | |
| | ・おかえり!はやぶさ2 地球帰還記念プラネタリウム無料投映 | 17回、146人 | | | | |
| | ・小惑星探査機「はやぶさ2」カプセル帰還パブリックビューイング | 24人 | | | | |

| | <p>※市民活力推進課主催「銀河連邦リモート交流会」同時開催 ・【中止】のしろ銀河フェスティバル</p> <p>(3) 宇宙科学への関心を高める工夫 ・宇宙検定の実施</p> <table border="1" data-bbox="416 360 1406 490"> <thead> <tr> <th></th> <th>上級</th> <th>中級</th> <th>初級</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>参加者数</td> <td>7人(10人)</td> <td>13人(28人)</td> <td>60人(113人)</td> </tr> <tr> <td>合格者数</td> <td>5人(9人)</td> <td>4人(11人)</td> <td>48人(84人)</td> </tr> </tbody> </table> <p>・子ども館ウォークラリーの実施 31組、100人(22組、59人) ・2階展示室「宇宙館」ガイドの実施 27件、831人(13件、414人)</p> | | | | | 上級 | 中級 | 初級 | 参加者数 | 7人(10人) | 13人(28人) | 60人(113人) | 合格者数 | 5人(9人) | 4人(11人) | 48人(84人) |
|---------------|--|----------|-----------|--|--|----|----|----|------|---------|----------|-----------|------|--------|---------|----------|
| | 上級 | 中級 | 初級 | | | | | | | | | | | | | |
| 参加者数 | 7人(10人) | 13人(28人) | 60人(113人) | | | | | | | | | | | | | |
| 合格者数 | 5人(9人) | 4人(11人) | 48人(84人) | | | | | | | | | | | | | |
| 点検・評価 | 対象年度 評価 | R1 A | R2 A | A 目標を上回る B ほぼ目標どおり C 目標をやや下回る D 目標を大幅に下回る | | | | | | | | | | | | |
| | <p>[説明]</p> <p>①講座満足度アンケートは「満足」「やや満足」と答えた参加者の割合が90%を超えており、引き続き事業内容の充実に努めたい。</p> <p>②総来館者数及びプラネタリウム観覧者数は、前年度と比較して減少したが、新型コロナウイルス対策による、4月22日から5月10日までの臨時休館、集客イベント(のしろこどもまつり、のしろ銀河フェスティバル)の中止、プラネタリウムや各種講座の定員削減が原因である。</p> | | | | | | | | | | | | | | | |
| 課題及び今後の取組の方向性 | <p><input type="checkbox"/>拡充 <input checked="" type="checkbox"/>継続 <input type="checkbox"/>廃止検討 <input type="checkbox"/>その他()</p> <p>[具体的な課題及び取組]</p> <p>①子ども館事業の充実 驚きや感動を引き出す科学実験講座の実施、季節に合わせた体験活動の積み重ね、リピーターや新規利用者の獲得につなげる人気事業の実施回数増等、事業の充実に図る。</p> <p>②宇宙教育の充実 ・モデルロケット教室やペットボトルロケット教室の開催 ・JAXAや日本宇宙少年団ノシロ分団等の関連機関・団体との連携 ・宇宙教育の情報発信(JAXA動画ニュース等の放映)</p> <p>③小・中学校、高校との連携強化 ・学習プラネタリウム(プラネタリウムを用いた天体関連の授業)の実施 ・施設見学、職場体験(中学生)、インターンシップ(高校生)等の受け入れ</p> <p>④デジタルプラネタリウムの活用 プラネタリウム番組の投映のほか、3次元シミュレーションによる宇宙空間の飛行体験や太陽系の俯瞰など、デジタルプラネタリウムならではの多彩な機能を活用した事業を実施し、利用の拡大を図る。</p> <p>⑤1階展示室のリニューアル 市が掲げる「宇宙のまち」を感じることができる身近な施設として、展示テーマを「宇宙」とし、宇宙や科学について、子ども達が楽しみながら遊び学べる要素を取り入れたリニューアルを進める。</p> | | | | | | | | | | | | | | | |
| 学識経験者の意見 | <p>○コロナ禍の中では件数、人数の減少は致し方ないところであり、最大限の努力がなされていることがうかがえる。ペットボトルロケットやロボット・プログラミングなどは好評のようで、もっと充実させてもよいと思われる。小学校のプログラミング学習と連動させてよいのではないか。コロナ禍と新しい生活様式に対応した取り組みを今後も追求していただきたい。</p> | | | | | | | | | | | | | | | |

| | |
|--|---|
| | <ul style="list-style-type: none"><li data-bbox="405 159 1422 232">□目標値 90%に対して満足度 96.9%は、目標値を十分達成しています。今後も事業内容の充実に努めてほしいと思います。<li data-bbox="405 241 1422 356">□ペットボトルロケット教室、モデルロケット教室、「はやぶさの日」イベントは、宇宙のまち能代をアピールする活動となっており、子どもたちが夢を膨らませることができる体験活動となっています。 |
|--|---|

| 基本目標 | 1 学校・家庭・地域・行政が一体となった、次代を生きる子どもたちを育むまちづくりの推進 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|---|---|-----|-------------------|------------------------|----------------------|----|-----|-----|--|-----|--|-----|------|-----|------|-----|----------|----|-----|----|-----|------|----------|---|-----|---|-----|--|----|-------------------|----|----------------------|-----|------------|---|----|---|----|
| 施策項目 | ② 保護者への学習機会の提供等による家庭教育の支援 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 方針・目標 | 核家族化や少子化、産業構造の変化など、子どもや家庭を取り巻く状況が大きく変化しており、保護者に対し様々な手法で学習機会を提供し、家庭教育を支援します。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 事業・取組名 | 家庭教育支援事業 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 目標値 | 保護者を対象とした家庭教育関係講座の実施回数で、過去3年間の平均値以上を目指します。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 事務事業の実績 | <p>1 庁内連携 (1) 家庭教育支援事業推進会議（3月） ※書面開催 (2) 家庭教育支援事業報告書を作成し関係者に配布（4月）</p> <p>2 情報提供 (1) 家庭教育通信「Only one」を発行（3回） (2) 「ちょこっと家庭教育通信」を発行・配布（1件2種）</p> <p>3 学習機会の提供 (1) 家庭教育関係講座の実施 (件、人)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">対象</th> <th rowspan="2">講座名</th> <th colspan="2">2年度</th> <th colspan="2">元年度</th> </tr> <tr> <th>講座数</th> <th>参加者数</th> <th>講座数</th> <th>参加者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>保護者</td> <td>家庭教育関係講座</td> <td>19</td> <td>922</td> <td>22</td> <td>968</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">次代の親</td> <td>家庭教育関係講座</td> <td>4</td> <td>472</td> <td>4</td> <td>355</td> </tr> <tr> <td>社会参加活動促進事業 「みんなでAction!」 (命の大切さ事業含む)</td> <td>14</td> <td>中高生 87 受入団体292</td> <td>20</td> <td>中高生 143 受入団体1,461</td> </tr> <tr> <td>祖父母</td> <td>じじばばの孫かて講座</td> <td>2</td> <td>18</td> <td>1</td> <td>13</td> </tr> </tbody> </table> <p>(2) 「家庭教育に関する・家読におすすめの本」の貸出 R2： 利用者 56人 貸出冊数 96冊 (R1： 利用者 105人 貸出冊数 162冊)</p> <p>4 人材の育成 祖父母等への学習機会の提供 「じじばばの孫かて講座」の実施（2回実施 参加者延べ18人）</p> | | | | | 対象 | 講座名 | 2年度 | | 元年度 | | 講座数 | 参加者数 | 講座数 | 参加者数 | 保護者 | 家庭教育関係講座 | 19 | 922 | 22 | 968 | 次代の親 | 家庭教育関係講座 | 4 | 472 | 4 | 355 | 社会参加活動促進事業 「みんなでAction!」 (命の大切さ事業含む) | 14 | 中高生 87 受入団体292 | 20 | 中高生 143 受入団体1,461 | 祖父母 | じじばばの孫かて講座 | 2 | 18 | 1 | 13 |
| 対象 | 講座名 | 2年度 | | 元年度 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 講座数 | 参加者数 | 講座数 | 参加者数 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 保護者 | 家庭教育関係講座 | 19 | 922 | 22 | 968 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 次代の親 | 家庭教育関係講座 | 4 | 472 | 4 | 355 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 社会参加活動促進事業 「みんなでAction!」 (命の大切さ事業含む) | 14 | 中高生 87 受入団体292 | 20 | 中高生 143 受入団体1,461 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 祖父母 | じじばばの孫かて講座 | 2 | 18 | 1 | 13 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 点検・評価 | 対象年度 | R1 | R2 | A 目標を上回る B ほぼ目標どおり | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 評価 | B | B | C 目標をやや下回る D 目標を大幅に下回る | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| <p>[説明]</p> <p>① 保護者を対象とした家庭教育関係講座の実施回数 19回 <u>過去3年間の平均値 22回</u> (R1：22回、H30：23回、H29：22回) 新型コロナの影響により中止となった講座があったものの、新入学児童保護者を対象とした講座等で前年度より増えるなど、ほぼ例年と同様の実施状況となった。</p> | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

| | |
|--|---|
| | <p>② 祖父母等を対象とした「孫かて講座」は、アンケート調査で要望があった「子どもの病気について」を秋田大学から講師を招き実施。また、能代市家庭教育支援チーム“あそびのひろば・ぱれっと”と連携し、「年代別！孫との遊び方」を実施した。</p> <p>③ 家庭教育関係講座のアンケート結果は、「とても参考になった」等の評価が多い。新型コロナの影響で中止となる講座もあったが、新たにオンライン配信やz o o mの活用など、講座の形式に変化がみられた。</p> <p>④ 家庭教育通信（O n l y o n e）の認知度は非常に高い。特に子育て家庭でよく読まれている。</p> |
| <p>課 題 及 び 今 後 の 取 組 の 方 向 性</p> | <p><input type="checkbox"/>拡充 <input checked="" type="checkbox"/>継続 <input type="checkbox"/>廃止検討 <input type="checkbox"/>その他（ ）</p> <p>[具体的な課題及び取組]</p> <p>①手軽に読める「家庭教育に関する・家読におすすめの本」の貸出利用者が前年度よりも大きく減少した。子育て中で時間に余裕がなくても、さっと読めるものや家庭教育に関する本を能代図書館に選書を依頼し、保護者の学習機会の充実を図る。</p> <p>②プレ親（次代の親となる中学生・高校生）を対象とした講座等の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・命の大切さ事業（赤ちゃんとのふれあい）を継続する。 ・プレ親（中学生）を対象とした性教育講座、命の大切さ講座について、全生徒が受講できるよう、引き続き学校に働きかける。 |
| <p>学 識 経 験 者 の 意 見</p> | <p>○コロナ禍においても意義のある取り組みが行われている。ぜひ若い親、若い世代、中高生に対する働きかけを引き続き強化して、子どもたちの幸せとともに、結婚、出産、育児に結びつけてほしい。また、SNS やメール、HP 等を活用した、若い世代が中心を担うような活動を増やしていただきたい。</p> <p>□保護者を対象とした家庭教育関係講座の実施回数が19回で22回を下回りましたが、新型コロナの影響により実施できなかった講座があったことを考えると目標達成と捉えます。講座の内容も充実しており、この後も継続をお願いします。</p> <p>□祖父母等への学習の機会「じじばばの孫かて講座」は、今後、高齢者が増加することから有効な講座となるはずですが、参加者を募る工夫をお願いします。</p> <p>□プレ親を対象とした講座は、いのちを守る教育を進めている学校教育においても有効に働いています。是非、全生徒が受講できるように学校と連携を図ってください。</p> |

| 基本目標 | 1 学校・家庭・地域・行政が一体となった、次代を生きる子どもたちを育むまちづくりの推進 | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|---|--|--------------------------|--------------------------|------------------------|-----|-----|----|--------|-------|------------------------|---------|---------|-------|------------------------|----------------|----------|-------|--------------------------|--------------------------|
| 施策項目 | ③ 地域活動に必要な学習機会の提供 | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 方針・目標 | 子どもの体験活動等に関わるコーディネーター等を対象に学習機会及び情報交換の場を提供し、資質向上を図り体験活動の推進・充実を図ります。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 事業・取組名 | コーディネーター等研修事業 | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 目標値 | 事業や活動の充実を図るため、担当者を対象とした学習機会を提供し、資質向上や活動の充実を図ります。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 事務事業の実績 | <p>1 放課後子ども教室コーディネーター会議（4/27 開催予定） ⇒ 新型コロナウイルス感染拡大防止のため資料送付のみとした。 ※コーディネーター業務が概ねひと段落した令和3年1月にも会議を開催し、情報交換の場を設けようと調整したが、管内で新型コロナウイルス感染者が発生したため、開催できなかった。</p> <p>2 普通救命講習会（7/1 から3回） 受講者 14名（管理員 延べ60名） 夏休み中のプール開放等に伴い、安全管理員の任務及び救命法について学ぶ。 ※受講者は未講習または前回講習を受けてから3年以上経過している方が対象。</p> <p>3 地域学校協働活動推進員等を対象とした会議等（3回） 新たに地域学校協働活動の実施に伴い、事業への理解を深めるため、先行実施した4校（2小学校・2中学校）を対象とした説明会等を実施。また、R3の全小中学校の実施に向け、県出前講座を活用した研修会を実施した。</p> <table border="1" data-bbox="422 1131 1396 1467"> <thead> <tr> <th>開催日</th> <th>会議等</th> <th>対象者</th> <th>内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R2.5.8</td> <td>事業説明会</td> <td>実施校4校（校長・教頭）、各校活動推進員3名</td> <td>事業の周知ほか</td> </tr> <tr> <td>R2.10.8</td> <td>意見交換会</td> <td>実施校4校（校長・教頭）、各校活動推進員3名</td> <td>協働活動の取組紹介、意見交換</td> </tr> <tr> <td>R2.10.21</td> <td>事業説明会</td> <td>全校小中13校（校長・教頭）、各校活動推進員3名</td> <td>R3 全校実施に向け事業の周知、県出前講座の活用</td> </tr> </tbody> </table> | | | 開催日 | 会議等 | 対象者 | 内容 | R2.5.8 | 事業説明会 | 実施校4校（校長・教頭）、各校活動推進員3名 | 事業の周知ほか | R2.10.8 | 意見交換会 | 実施校4校（校長・教頭）、各校活動推進員3名 | 協働活動の取組紹介、意見交換 | R2.10.21 | 事業説明会 | 全校小中13校（校長・教頭）、各校活動推進員3名 | R3 全校実施に向け事業の周知、県出前講座の活用 |
| 開催日 | 会議等 | 対象者 | 内容 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| R2.5.8 | 事業説明会 | 実施校4校（校長・教頭）、各校活動推進員3名 | 事業の周知ほか | | | | | | | | | | | | | | | | |
| R2.10.8 | 意見交換会 | 実施校4校（校長・教頭）、各校活動推進員3名 | 協働活動の取組紹介、意見交換 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| R2.10.21 | 事業説明会 | 全校小中13校（校長・教頭）、各校活動推進員3名 | R3 全校実施に向け事業の周知、県出前講座の活用 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 点検・評価 | 対象年度 | R 1 | R 2 | A 目標を上回る B ほぼ目標どおり | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 評価 | B | B | C 目標をやや下回る D 目標を大幅に下回る | | | | | | | | | | | | | | | |
| <p>[説明]</p> <p>①年度初めの会議は、各地域で活動しているコーディネーターが一堂に会し、前年度の活動内容を振り返るとともに、新年度の活動や役割を確認し合うことができる有意義な会議であるため開催したかったが、新型コロナウイルスのためやむなく中止とした。</p> <p>②普通救命講習会は、夏休みのプール開放前に実施。監視にあたる安全管理員全員が受講し、事故を未然に防ぐ対策を講じている。</p> <p>③新規事業である地域学校協働活動への理解を深めるため、関係者を対象とした説明会等を実施した。R3年度の全校実施に向けた事業説明会では、先行実施した学校の取組を紹介したほか、県の出前講座を活用し事業への理解を深めた。</p> | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

| | |
|--------------------------------|---|
| <p>課題及び 今後の取組の 方向性</p> | <p><input type="checkbox"/>拡充 <input checked="" type="checkbox"/>継続 <input type="checkbox"/>廃止検討 <input type="checkbox"/>その他（ ）</p> <p>[具体的な課題及び取組]</p> <p>①研修・講習内容の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・個々のコーディネート力を尊重しつつ、豊富な社会経験を持つ外部人材との協力も得ながらスキルアップを図る。 ・県主催の研修への参加を勧奨し、市外の取組も参考に幅広い視野での活動ができるよう促す。 ・他の体験活動への参加等によりコーディネーター同士の連携強化を図る。 <p>②学校・家庭・地域との連携</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校訪問により、学校との連携を密にし、より充実した活動とする。 ・コーディネーターの高齢化に伴い、新たな後継者の発掘や育成につながるよう、情報交換しながらコーディネーターを支援していく。 |
| <p>学識経験者 の意見</p> | <p>○コロナ禍の中では件数、人数の減少は致し方ないところであり、最大限の努力がなされていることがうかがえる。地域学校協働活動推進員は今後重要な役割を果たしていくと思われることから、その活動、研修、交流の充実を測れるよう、コロナ禍と新しい生活様式の中で可能なことを模索していただきたい。</p> <p><input type="checkbox"/>普通救命講習会は、水の事故から子どもを守る救急法を学ぶ場として有効な講習会です。</p> <p><input type="checkbox"/>これからも学校を核とした地域づくりを目指す「地域学校協働活動」を推進してほしいと思います。</p> |

| | |
|---------|---|
| 基本目標 | 1 学校・家庭・地域・行政が一体となった、次代を生きる子どもたちを育むまちづくりの推進 |
| 施策項目 | ④ 読書活動の推進 |
| 方針・目標 | 第2次能代市子ども読書活動推進計画に基づき、子どもの感性を磨き、表現力を高め、想像力を豊かにするため、子どもの発達段階に応じた取組を推進します。 |
| 事業・取組名 | 読書活動推進事業 |
| 目標値 | 県学習状況調査による不読率で県平均を下回るよう目指します。 ※不読率=1カ月に1冊も本を読まない子どもの割合 |
| 事務事業の実績 | <p>第2次能代市子ども読書活動推進計画（計画期間は R2～R6 年度の5年間）に基づいた取組を行った。</p> <p>1 啓発活動</p> <p>(1) 読書活動推進関係事業の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「エコバッグにデコパージュ！」(2/6 実施 参加者 12 人) ・バッグに好きな柄を貼り付けて、ライブラリーバッグとして活用してもらった。 <p>(2) 読書記録用「能代っ子家読通帳」の作成・配布</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ノート型から通帳型に様式を変更し、市内全小学校児童・中学校生徒へ配布 <p>(3) 秋田杉製ブックスタンド作成・配布</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小学4年生を対象に、秋田杉製ブックスタンドキットを配布 ・図工の授業で組み立てを行い、家に持ち帰って活用してもらった。 <p>(4) うちどくDAY（毎月第3日曜日）のポスターを作成し、小中学校及び関係機関へ配布した。</p> <p>(5) 各学校への働きかけ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各校の読書活動に関するアンケートを実施し、読書活動の充実へ向けた各校の取組を共有した。（1/15 図書支援員研修会） ・学校教育課と市立図書館、生涯学習・スポーツ振興課が連携して「図書支援研修会」を開催し、各校の図書館担当教諭及び図書支援員の共通理解を図るとともに、読書指導や学校図書館運営に関する力量の向上に努めた。 <p>※予定していた「読書活動推進研修会」「学校図書支援合同研修会」は新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から開催せず。</p> <p>2 環境整備</p> <p>(1) 「読んでみて！わたしの推し本」図書紹介（広報のしろ掲載 全11回）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校や地域おこし協力隊等に紹介をお願いし、毎月10日号へ掲載した。 <p>(2) 指定管理者と連携した図書館の管理運営</p> <ul style="list-style-type: none"> ・指定管理者と連携した事業の開催や定期的な打ち合わせを実施することで、図書館の運営・取組実施への連携・協力を努めた。 <p>(3) 学校図書館図書標準達成状況の改善</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各校の学校図書館図書標準達成状況に応じた図書整備費を措置した。 ・年度末に図書標準達成状況調査を行って状況を把握し、校長会、教頭会、各研修会等で改善を図るよう説明した。 |

| | | |
|---|--------|--------|
| 【学校図書標準の達成率】 | | |
| 予算の重点配分等により図書状況が安定してきている。小・中学校ともに平均で100%を超えている。 | | |
| 学校／年度 | R 2 | R 1 |
| 小学校平均 | 111.3% | 119.4% |
| 中学校平均 | 112.7% | 108.8% |

| | | | | | |
|-------|------|-----|-----|------------|-------------|
| 点検・評価 | 対象年度 | R 1 | R 2 | A 目標を上回る | B ほぼ目標どおり |
| | 評価 | A | B | C 目標をやや下回る | D 目標を大幅に下回る |

【説明】

不読率について

不読率は、県平均を下回る学年が多かった。

【令和2年度県学習状況調査 質問紙結果】

| 学 年 | R 2 | | | 比較 | R 1 | | |
|------|------|------|-------|------|------|-------|----|
| | 能代市 | 県平均 | | | 能代市 | 県平均 | 比較 |
| 小学4年 | 8.1% | 3.6% | +4.5P | 0.3% | 3.2% | -2.9P | |
| 小学5年 | 0.3% | 5.1% | -4.8P | 1.7% | 3.9% | -2.2P | |
| 小学6年 | 0.3% | 6.1% | -5.8P | 0.0% | 5.0% | -5.0P | |
| 中学1年 | 6.6% | 7.2% | -0.6P | 1.6% | 7.9% | -6.3P | |
| 中学2年 | 8.1% | 9.4% | -1.3P | 1.2% | 8.9% | -7.7P | |

課題及び今後の取組の方向性

拡充 継続 廃止検討 その他 ()

【具体的な課題及び取組】

子ども読書活動推進計画に基づき、学校・家庭・地域の連携を図りながら施策を実施し、啓発活動を行っていく。

- ・家読通帳の利用が高まるよう、家庭で実践しやすい取り組みを実施する。
- ・指標としている県学習状況調査において、県平均を下回っている学年が多いが、県平均を大きく上回る学年もあった。
- ・第2次子ども読書活動推進計画（令和2年～6年度）に基づき具体的な取り組みを行っていく。

学識経験者の意見

様々な取り組みが効果を上げていると思われる。引き続いて取り組みの充実を目指していただきたい。小学4年生で不読率がかなり高くなっていることから、各学校と連携して重点的に取り組んでいただきたい。

学校図書標準の達成率状況は、小・中学校ともに平均で100%を超えており、図書状況は十分といえます。100%に到達しない学校には、早期の対応をお願いします。

第2次能代市子ども読書活動推進計画に基づき、学校、家庭、市担当課、市図書館等が子どもの読書活動を推進し、子どもの読書に対する興味・関心を高めています。

不読率は、県平均を下回る学年が多くなっています。興味をひく本、話題の本を適切に選択し、予算を有効に活用して本を購入したことがよい結果として表れています。図書館からの宣伝、心に残る本の紹介などの手立ても効果的であったと考えます。

【 学校教育課 】【 生涯学習・スポーツ振興課 】

| | | | | | | | | | | | | | | | | |
|--|--|-------|-------|--|----|------|-----|-------|---|-------|-------|-------|-----|-------|-------|-------|
| 基本目標 | 1 学校・家庭・地域・行政が一体となった、次代を生きる子どもたちを育むまちづくりの推進 | | | | | | | | | | | | | | | |
| 施策項目 | ⑤ 食育の推進 | | | | | | | | | | | | | | | |
| 方針・目標 | 1 健康的で豊かな食生活を実践し、食育推進に取り組みます。 2 食の安全・安心に関する知識の提供に努めます。 | | | | | | | | | | | | | | | |
| 事業・取組名 | 1 学校給食事業 2 食について理解を深める体験活動事業 | | | | | | | | | | | | | | | |
| 目標値 | 1 朝食を毎日食べる子どもの割合を増やします。 2 学校給食における地場産農産物の使用に努めます。 | | | | | | | | | | | | | | | |
| 事務事業の実績 | <p>1 学校給食事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・給食だよりを毎月発行し、家庭へ食育情報を提供した。また、給食献立表を通して、朝ごはんの効果等をアピールし、「早寝・早起き、朝ご飯」を推進した。 (3 調理場延べ 36 回) ・食育だよりを発行し、家庭へ食育情報を提供した。 (南部共同調理場延べ 36 回、北部共同調理場延べ 4 回) ・栄養教諭が給食時間に訪問し、食事に関する情報提供を行った。 (2 調理場延べ 8 回) ・栄養教諭による、食事と健康に関する食育授業を行った。 (10 校延べ 25 回) ・食育の日（毎月 19 日）に地場産物を多く使った献立を提供した。 (3 調理場延べ 36 回) ・食育月間（毎年 6 月）に県の出前講座を実施、比内地鶏の親子丼を生産者と会食し、生産における苦労や食味について理解を深めた。 (北部共同調理場・東雲中学校 3 年生延べ 1 回) ・東京 2020 大会ホストタウン事業に参画、ヨルダンにちなんだ献立と資料を提供し、食を通してヨルダンの文化について理解を深めた。 (北部共同調理場延べ 1 回) <p>2 食について理解を深める体験活動事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・給食保護者試食会を開催し、食育に関する講話、資料提供を行った。 (南部共同調理場延べ 3 回) ・放課後子ども教室において食に関する講座を開催した。 (8 回、延べ 69 人) ・中央公民館、二ツ井公民館において食に関する講座を開催した。 (15 回、延べ 213 人) | | | | | | | | | | | | | | | |
| 点検・評価 | 対象年度 | R 1 | R 2 | A 目標を上回る B ほぼ目標どおり C 目標をやや下回る D 目標を大幅に下回る | | | | | | | | | | | | |
| | 評価 | B | A | | | | | | | | | | | | | |
| <p>[説明]</p> <p>①朝食を毎日食べる子どもの割合【全国学力・学習状況調査】</p> <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <tr> <td>年度</td> <td>2 年度</td> <td>元年度</td> <td>30 年度</td> </tr> <tr> <td>市</td> <td>96.5%</td> <td>95.7%</td> <td>95.2%</td> </tr> <tr> <td>県平均</td> <td>96.2%</td> <td>96.5%</td> <td>95.6%</td> </tr> </table> <p>前年度数値及び県平均いずれも上回った。</p> | | | | | 年度 | 2 年度 | 元年度 | 30 年度 | 市 | 96.5% | 95.7% | 95.2% | 県平均 | 96.2% | 96.5% | 95.6% |
| 年度 | 2 年度 | 元年度 | 30 年度 | | | | | | | | | | | | | |
| 市 | 96.5% | 95.7% | 95.2% | | | | | | | | | | | | | |
| 県平均 | 96.2% | 96.5% | 95.6% | | | | | | | | | | | | | |

| | <p>②学校給食における地場産農産物の使用割合【学校給食物資使用調査】</p> <table border="1" data-bbox="480 197 1246 322"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>元年度</th> <th>30年度</th> <th>29年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>市</td> <td>35.6%</td> <td>33.4%</td> <td>31.2%</td> </tr> <tr> <td>県平均</td> <td>33.9%</td> <td>30.6%</td> <td>30.7%</td> </tr> </tbody> </table> <p>前年度数値及び県平均いずれも上回った。</p> | 年度 | 元年度 | 30年度 | 29年度 | 市 | 35.6% | 33.4% | 31.2% | 県平均 | 33.9% | 30.6% | 30.7% |
|----------------------|---|-------|-------|------|------|---|-------|-------|-------|-----|-------|-------|-------|
| 年度 | 元年度 | 30年度 | 29年度 | | | | | | | | | | |
| 市 | 35.6% | 33.4% | 31.2% | | | | | | | | | | |
| 県平均 | 33.9% | 30.6% | 30.7% | | | | | | | | | | |
| <p>課題及び今後の取組の方向性</p> | <p><input type="checkbox"/>拡充 <input checked="" type="checkbox"/>継続 <input type="checkbox"/>廃止検討 <input type="checkbox"/>その他（ ）</p> <p>[具体的な課題及び取組]</p> <p>①栄養教諭による食育指導</p> <ul style="list-style-type: none"> ・栄養教諭による教科等と連携した栄養指導を行う。 ・保護者へのレシピ配付や親子で参加する教室の開催、給食試食会での栄養士の講話など、家庭で話題にできる講座の実施を推進していく。 <p>②学校給食における地場産農産物の使用</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地場産野菜等は、安定した量が確保できないため、産地直売所等と情報を共有しながら、収穫時期に合わせた献立を考え、使用拡大に努めていく。 ・JAや産地直売所、農業振興課から情報を得ながら、どのような連携ができるか検討していく。 | | | | | | | | | | | | |
| <p>学識経験者の意見</p> | <p>○北部と南部で違う取り組みがなされている例があるが、保護者試食会など、両方で取り組んでもいい事業もあるように思うので、可能な範囲で検討していただきたい。</p> <p><input type="checkbox"/>食育だよりは、家庭における食育教育を推進する上で効果的でした。朝食を毎日食べる子どもの割合が増加している点も評価できます。</p> <p><input type="checkbox"/>栄養教諭による食育の授業は、どの学校においても進められていますが、他教科等との関連を踏まえた横断的指導で児童生徒主体の学習を展開してほしいと思います。分かる、できる、楽しい食育授業の構築が望まれます。</p> <p><input type="checkbox"/>学校給食における地場産農産物の使用については、食材の確保に難点はあるもののもう少し使用割合を高めたいと考えます。他の調理場、関係機関等との連携を図り、解決策を見いだしてほしいと思います。</p> | | | | | | | | | | | | |

| 基本目標 | 2 豊かな人間性を育む学校教育の推進 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|---|---|-------|-------|-------|-------|-------|----|-----|--|----|-----|-----|-----|-----|------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 施策項目 | ① 主体的で創意ある教育活動の推進 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 方針・目標 | 児童生徒の感性を磨き、創造力を豊かにするために、ふるさと教育の推進や宇宙・科学技術の学びの充実を図るなど、各学校の主体的で創意ある教育活動を推進します。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 事業・取組名 | 1 学習指導要領の趣旨を踏まえた特色ある教育計画の立案と実践・評価 2 ふるさと教育の推進と地域に根ざしたキャリア教育の充実 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 目標値 | 1 学校関係者評価を実施し、全ての学校でその結果を公表し、改善に生かします。 2 県学習状況調査質問紙の「地域のためになる活動に進んで取り組みたいと思う」の項目で、県平均を上回るよう目指します。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 事務事業の実績 | 1 学習指導要領の趣旨を踏まえた特色ある教育計画の立案と実践・評価 学校・家庭・地域が相互に連携した教育活動の在り方を検証するため、「あきた型学校評価システム」による学校関係者評価を実施し、市内13校全ての小・中学校でその結果を公表した。 2 ふるさと教育の推進と地域に根ざしたキャリア教育の充実 ① 小・中学校での発表会は中止としたが、各校において特色あるキャリア教育が実施された。 ② 前年度末から年度初めにかけて学校支援ボランティアを募集し、各学校でボランティアを活用した体験活動を行った。 ③ 中学校区を基本として、全ての小・中学校に学校運営協議会を設置してコミュニティ・スクールとし、地域ぐるみの学校づくりを推進した。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 点検・評価 | 対象年度 | R 1 | R 2 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 評価 | A | B | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| <p>A 目標を上回る B ほぼ目標どおり C 目標をやや下回る D 目標を大幅に下回る</p> <p>[説明]</p> <p>1 学習指導要領の趣旨を踏まえた特色ある教育計画の立案と実践・評価 「あきた型学校評価システム」により、学校関係者評価を実施し、全ての小・中学校において学校報やホームページ等でその結果を公表し、その評価をもとに、学校運営協議会等と連携して、改善に生かした。</p> <p>2 ふるさと教育の推進と地域に根ざしたキャリア教育の充実 ①二ツ井小・中の取組 地元の企業とタイアップして、商品開発を行った。企画・宣伝・販売と一連の流れで体験をした。いとく二ツ井店で販売したお弁当シリーズは、いずれも完売となった。 ②秋田県学習状況調査質問紙の結果より 【地域のためになる活動に進んで取り組みたいと思う】</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">学 年</th> <th colspan="2">R 2</th> <th rowspan="2">比較</th> <th colspan="2">R 1</th> <th rowspan="2">比較</th> </tr> <tr> <th>能代市</th> <th>県平均</th> <th>能代市</th> <th>県平均</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>小学4年</td> <td>90.4%</td> <td>92.6%</td> <td>-2.2P</td> <td>93.5%</td> <td>93.2%</td> <td>+0.3P</td> </tr> <tr> <td>小学5年</td> <td>92.2%</td> <td>91.0%</td> <td>+1.2P</td> <td>95.2%</td> <td>92.0%</td> <td>+3.2P</td> </tr> <tr> <td>小学6年</td> <td>95.4%</td> <td>90.4%</td> <td>+5.0P</td> <td>94.3%</td> <td>91.1%</td> <td>+3.2P</td> </tr> <tr> <td>中学1年</td> <td>95.1%</td> <td>89.3%</td> <td>+5.8P</td> <td>92.6%</td> <td>90.5%</td> <td>+2.1P</td> </tr> <tr> <td>中学2年</td> <td>90.0%</td> <td>88.3%</td> <td>+1.7P</td> <td>93.1%</td> <td>89.2%</td> <td>+3.9P</td> </tr> </tbody> </table> | | | | 学 年 | R 2 | | 比較 | R 1 | | 比較 | 能代市 | 県平均 | 能代市 | 県平均 | 小学4年 | 90.4% | 92.6% | -2.2P | 93.5% | 93.2% | +0.3P | 小学5年 | 92.2% | 91.0% | +1.2P | 95.2% | 92.0% | +3.2P | 小学6年 | 95.4% | 90.4% | +5.0P | 94.3% | 91.1% | +3.2P | 中学1年 | 95.1% | 89.3% | +5.8P | 92.6% | 90.5% | +2.1P | 中学2年 | 90.0% | 88.3% | +1.7P | 93.1% | 89.2% | +3.9P |
| 学 年 | R 2 | | 比較 | | R 1 | | | 比較 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 能代市 | 県平均 | | 能代市 | 県平均 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 小学4年 | 90.4% | 92.6% | -2.2P | 93.5% | 93.2% | +0.3P | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 小学5年 | 92.2% | 91.0% | +1.2P | 95.2% | 92.0% | +3.2P | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 小学6年 | 95.4% | 90.4% | +5.0P | 94.3% | 91.1% | +3.2P | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 中学1年 | 95.1% | 89.3% | +5.8P | 92.6% | 90.5% | +2.1P | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 中学2年 | 90.0% | 88.3% | +1.7P | 93.1% | 89.2% | +3.9P | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

| | |
|---------------|--|
| 課題及び今後の取組の方向性 | <input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> その他 () [具体的な課題及び取組] 1 学習指導要領の趣旨を踏まえた特色ある教育計画の立案と実践・評価 ・設置3年目となった学校運営協議会において、学校や地域の実情に応じた特色ある教育計画の立案と実践・評価がなされるように同協議会を有効に機能させる。 2 ふるさと教育の推進と地域に根ざしたキャリア教育の充実 ・能代っ子中学生ふるさと会議を開催する。能代っ子中学生ふるさと会議は議会形式としての開催を継続し、代表校による提言に基づいた全体での話し合いの充実を図る。また、県と連携した事業として中学生企業説明会を継続する。 ・二ツ井小学校・二ツ井中学校における起業体験推進事業の取り組みを、起業体験プロジェクトとして引き続き推進する。 |
| 学識経験者の意見 | <input type="radio"/> 二ツ井小学校・中学校の取り組みは興味深いものであり、ぜひ他の学校でも可能なことがあるか、検討していただきたい。地域のためになる活動に取り組みたいとする割合が小学4年生で低くなっており、重点的な取り組みをお願いしたい。 <input type="checkbox"/> 全小・中学校で実施している「あきた型学校評価」は、各学校の教育目標を実現する上で役立っています。 <input type="checkbox"/> コミュニティ・スクールが機能してきています。学校と地域が連携し、子どもの育成を目指した地域の特色ある教育活動を展開しています。今後、PDCAサイクルを活用し、より一層の施策の充実を図っていただきたいと思います。 <input type="checkbox"/> 「能代っ子中学生ふるさと会議」「中学生企業説明会」の継続により、ふるさとキャリア教育が推し進められるのは確かだと思います。 |

| | |
|---------|--|
| 基本目標 | 2 豊かな人間性を育む学校教育の推進 |
| 施策項目 | ② 心豊かでたくましい子どもを育てる指導 |
| 方針・目標 | いじめや不登校等の問題について、未然防止や早期発見等、適切な対応に努めます。 |
| 事業・取組名 | 自己実現を支える生徒指導 |
| 目標値 | 県学習状況調査質問紙の「学校が楽しい」の項目で、全対象学年において、県平均を上回るよう目指します。 |
| 事務事業の実績 | <p>自己実現を支える生徒指導</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 心の教室相談員の配置 <ul style="list-style-type: none"> ・小学校7校中5校に5名（兼務なし）、中学校6校中6校に6名（兼務なし）配置 ・1年間に心の教室を訪れた人数（延べ人数） 11,469人、相談件数515件 2 スクールカウンセラーの配置（県委託） <ul style="list-style-type: none"> 中学校：6校中6校に2人（兼務あり）配置 ・1年間でSCを利用した人数（延べ人数） 628人 3 適応指導教室「はまなす広場」の設置（不登校児童生徒への個別指導） <ul style="list-style-type: none"> ・通級者9人 週に1回～数回の登校等、回復傾向の見られた生徒4人 ・登校に向けて風の子電話との連携を強化 4 「風の子電話」の設置（電話や来所による教育相談） <ul style="list-style-type: none"> ・年間相談件数 電話16件、来所63件（不登校35件、教職員との関係11件、いじめや交友関係7件、学業・進路17件、性格・生活習慣5件、家族関係2件、生活態度1件、部活動1件） ・学校や教育研究所、適応指導教室、他機関との連携 5 不登校保護者会の開催（不登校児童生徒をもつ保護者の援助活動） <ul style="list-style-type: none"> ・毎月第3木曜日19:00～21:00 ・12回開催、保護者延べ45人参加。生徒の改善（回復傾向）へ関わる。 6 各小・中学校への指導 <ul style="list-style-type: none"> ・不登校対策事業についてのリーフレット等の保護者への配付と市ホームページへの掲載 ・各校におけるいじめ・不登校の現状や支援を要する児童生徒についての月例報告とそれに対する指導助言 ・市生徒指導主事会での児童生徒に関する情報交換やいじめ・不登校未然防止の取組の呼びかけ ・Q-Uアンケート（楽しい学校生活を送るためのアンケート）の実施と分析。小学校5・6年、中学校1・2年で年2回実施。中学校1年生はよりきめ細かな分析ができるhyper-QUを実施。 |

| | | | | | |
|-------|------|-----|-----|------------|-------------|
| 点検・評価 | 対象年度 | R 1 | R 2 | A 目標を上回る | B ほぼ目標どおり |
| | 評価 | B | B | C 目標をやや下回る | D 目標を大幅に下回る |

[説明]
 1 県学習状況調査の質問紙において、「学校が楽しい」の項目で全対象学年が90パーセント以上であったが、小4でわずかではあるが県平均を下回った。

| 学 年 | R 2 | | 比較 | R 1 | | 比較 |
|------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| | 能代市 | 県平均 | | 能代市 | 県平均 | |
| 小学4年 | 90.8% | 93.6% | -2.8p | 92.9% | 93.2% | -0.3p |
| 小学5年 | 92.8% | 92.8% | 0p | 96.1% | 94.4% | +1.7p |
| 小学6年 | 97.7% | 93.6% | +4.1p | 96.9% | 93.9% | +3.0p |
| 中学1年 | 93.6% | 89.7% | +3.9p | 95.8% | 93.1% | +2.7p |
| 中学2年 | 95.7% | 91.9% | +3.8p | 91.3% | 92.2% | -0.9p |

2 いじめは小学校114件、中学校46件が報告された (R1 小330件、中32件)。いじめ認知後、各校で即時対応するなど適切な指導がなされ、解決につながっている。
 3 令和2年度の本市の不登校の出現率は14.9人 (1000人当たり) である。令和元年度は11.4人で、国の18.8人、県の14.1人を下回った。本市の不登校出現率は、令和元年度まで国と県の平均を下回っている。(令和2年度の国と県の結果は集計中。)

課題及び今後の取組の方向性 拡充 継続 廃止検討 その他 ()

[具体的な課題及び取組]
 1 「いじめ問題対策連絡協議会」を開催して本市のいじめ問題の現状を把握し学校・家庭・地域その他関係者が連携を図って対応する。また自己有用感を高め、すべての児童生徒の安全・安心な学校生活へ向けて、各校のいじめ防止基本方針の学校・家庭・地域での共有を推進し、「いじめは絶対に許さない。」という学校風土をつくる。
 2 不登校・不登校傾向の児童生徒の回復に向けて、各校で校内体制を整え、関係機関とも積極的な連携が図られるようにする。また、新たな不登校児童生徒を出さないように、気になる児童生徒への即時対応、チームでの対応を推進する。
 3 適応指導教室「はまなす広場」の機能を強化するため、指導員や児童生徒支援アドバイザー、風の子電話相談の相談員が横断的に運営に関われるようにする。

学識経験者の意見
 「風の子電話」の相談件数がかなり増えている。不登校や教職員との関係の増え方も大きいことから、十分な対応をしていただきたい。学校が楽しいとする割合が、やはり小学4年生で低くなっていることから重点的な取り組みをお願いしたい。
 適応教室「はまなす広場」、「風の子電話」の設置、不登校保護者会の開催、Q-Uアンケートの実施と分析は、いじめ・不登校問題への対応として有効に働いています。今後も継続してほしいと思います。
 市学校教育課が実施しているいじめ・不登校の毎月の調査は、学校との連携を図った未然防止・早期発見・即時対応の対策につながっています。
 令和2年度は、不登校の出現率が14.9人となっていますが、はじめの目標であった出現率7人以下 (1000人当たり) を目指してほしいと思います。

| | | | | |
|---------------|--|-----|-----|-----------------------------|
| 基本目標 | 2 豊かな人間性を育む学校教育の推進 | | | |
| 施策項目 | ② 心豊かでたくましい子どもを育てる指導 | | | |
| 方針・目標 | 生き方を探求し自立を促す指導、健やかな心と体の育成、命の教育や防災教育等を推進します。 | | | |
| 事業・取組名 | 健やかな心と体の育成 | | | |
| 目標値 | 新体力テストの体力合計点で、すべての学年において、県平均以上を目指します。 | | | |
| 事務事業の実績 | 健やかな心と体の育成 新体力テストの実施と分析の予定であったが、新型コロナの全国的な感染状況や学校の休校等により、中止となった。 | | | |
| 点検・評価 | 対象年度 | R 1 | R 2 | A 目標を上回る B ほぼ目標どおり |
| | 評価 | B | — | C 目標をやや下回る D 目標を大幅に下回る |
| | <p>[説明]</p> <p>R 2 新体力テストが中止となったため、目標値としている体力合計点での比較ができないことから評価を見送った。</p> <p>①新体力テストは中止となったが、各校では可能な限り授業を屋外で実施したり、児童生徒が集合・整列する場面を避けたり、個人や少人数で密集せず距離を取って取り組むことができる運動を行うなどの工夫をした。また、体育館の授業でも、換気をこまめにしたり、用具を使用する前に消毒したり、授業の前後に手洗いを徹底したりするなど感染拡大防止のための防護措置等を講じた。</p> <p>②地域連携安全・安心推進事業では、モデル校において防災に関する取組や計画の見直しをし、地域や関連機関と連携した防災教育の一層の充実を図ることができた。児童生徒、教職員だけでなく、家族や地域の方々の防災意識高揚につながり、中核教員の資質向上とともに、中核教員を中心とした組織的な防災教育への取組が行われた。</p> | | | |
| 課題及び今後の取組の方向性 | <input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> その他 () | | | |
| | <p>[具体的な課題及び取組]</p> <p>・各校において新体力テストの結果を分析し、体育の授業を中心に、高めたい運動特性につながる運動を積極的に取り入れるよう指導する。</p> | | | |
| 学識経験者の意見 | <p>○コロナ禍では新体力テスト中止もやむを得ないところだが、体力の低下が心配される中で、各校では体力増進に向けた取り組みが行われている。コロナ禍も災害の一つであり、防災意識の高揚、防災教育の充実引き続き取り組んでいただきたい。</p> <p>□新型コロナ感染防止の措置を徹底し、児童生徒の心身の発達を目指した体育指導、部活動指導等に精一杯取り組んだ各学校の努力に感謝しています。令和3年度の新体力テストの結果に期待しています。</p> | | | |

| | |
|---------|--|
| 基本目標 | 2 豊かな人間性を育む学校教育の推進 |
| 施策項目 | ③ 基礎学力の向上を図る学習指導 |
| 方針・目標 | 児童生徒の基礎学力の確実な定着と向上を図るとともに、主体的・対話的で深い学びの実現を目指します。 |
| 事業・取組名 | <ol style="list-style-type: none"> 1 基本的な学習習慣の確立 2 子どもが主体的に取り組める学習指導 3 評価を生かした授業改善 4 ねらいに即したICTの効果的な活用 |
| 目標値 | <ol style="list-style-type: none"> 1 「学校がある日の勉強時間」（1時間以上勉強している児童生徒の割合）で、県平均を上回るよう目指します。 2 学習意欲に関する肯定的評価が小学生で80%以上、中学生で60%以上、児童生徒同士の学び合いに関する評価が、小・中学校とも90%以上を目指します。 3 学校訪問等で参観した主体的・対話的で深い学びの授業事例を教育情報紙で全ての小・中学校から1つ以上紹介します。 |
| 事務事業の実績 | <ol style="list-style-type: none"> 1 基本的な学習習慣の確立 県学習状況調査の学校分析と補充・改善の実施、学校訪問等での情報交換及び指導助言等を実施した。 2 子どもが主体的に取り組める学習指導 <ol style="list-style-type: none"> ①県学習状況調査の学校分析と補充・改善の実施、研究主任会での情報交換及び指導助言等を実施した。 <ul style="list-style-type: none"> ・個々の児童生徒の補充学習実施の促進を図った。 ・主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善の促進を図った。 ・タブレット端末等のICTを活用した授業を推進した。 ②研修機会（初任者研修、講師等研修会、算数・数学学力向上研修会、研究主任会、タブレット研修会等）の提供と各校の情報共有を行った。 <ul style="list-style-type: none"> ・能代市山本郡の初任者、講師を対象に、初任者研修、講師等研修会を開催し、「秋田の探究型授業」のポイント等について指導助言した。 ・小・中学校の算数・数学担当者を対象に「算数・数学学力向上研修会」を開催し、算数・数学の学力向上やタブレット端末を活用した授業づくりについて、専門監の授業参観後、情報交換をするとともに指導助言を行った。 3 評価を生かした授業改善 <ul style="list-style-type: none"> ・学校訪問（所長訪問随行、市教委訪問、要請訪問）において、授業改善について指導助言した。 ・市教委訪問では、能代市の授業づくりの重点を確認するとともに、学校の研究体制や道徳科における課題設定・話し合い活動の在り方について、具体的に指導助言した。 |

| 点検・評価 | 対象年度 | R 1 | R 2 | A 目標を上回る | B ほぼ目標どおり | |
|--|------------|---------|------------|----------|-----------|------------|
| | 評価 | B | B | | | C 目標をやや下回る |
| 1 基本的な学習習慣の確立 | | | | | | |
| 【学校がある日の勉強時間（1時間以上勉強している児童生徒の割合）】 | | | | | | |
| ・小4、小6、中1で県平均を上回る結果であった。 | | | | | | |
| | | R 2 | | R 1 | | |
| 学 年 | 能代市 | 県平均 | 比較 | 能代市 | 県平均 | 比較 |
| 小学4年 | 39.1% | 37.7% | +1.4p | 43.7% | 37.0% | +5.6p |
| 小学5年 | 43.2% | 50.2% | -7.0p | 59.1% | 56.9% | +8.4p |
| 小学6年 | 65.0% | 58.7% | +6.3p | 68.0% | 68.3% | +7.6p |
| 中学1年 | 77.4% | 71.5% | +5.9p | 61.3% | 71.2% | -8.5p |
| 中学2年 | 59.7% | 67.0% | -7.3p | 58.0% | 72.8% | -6.9p |
| 2 子どもが主体的に取り組める学習指導 | | | | | | |
| ①学習意欲は「勉強が好きだ」の割合 | | | | | | |
| 〈目標値：小学生80%以上、中学生60%以上〉 | | | | | | |
| ・目標値はすべての学年で上回った。小4以外の学年で県平均を上回った。 | | | | | | |
| 学 年 | R 2 能代市 | 目標値との比較 | R 2 県平均 | 県との比較 | | |
| 小学4年 | 82.8% | + 2.8p | 83.6% | - 0.8p | | |
| 小学5年 | 80.6% | + 0.6p | 76.9% | + 3.7p | | |
| 小学6年 | 84.7% | + 4.7p | 72.5% | +12.2p | | |
| 中学1年 | 73.9% | +13.9p | 61.6% | +12.3p | | |
| 中学2年 | 61.0% | + 1.0p | 53.2% | + 7.8p | | |
| ②「ふだんの授業では、学校の友達との間で話し合う活動をよく行っていると思う」の割合 〈目標値：小・中学校とも90%以上〉 | | | | | | |
| ・すべての学年で目標値、県平均を上回った。 | | | | | | |
| 学 年 | R 2 能代市 | 目標値との比較 | R 2 県平均 | 県との比較 | | |
| 小学4年 | 93.8% | +3.8p | 92.4% | +1.4p | | |
| 小学5年 | 92.8% | +2.8p | 91.4% | +1.4p | | |
| 小学6年 | 98.0% | +8.0p | 93.3% | +4.7p | | |
| 中学1年 | 99.4% | +9.4p | 96.1% | +3.3p | | |
| 中学2年 | 98.6% | +8.6p | 95.7% | +2.9p | | |
| 3 評価を生かした授業改善 | | | | | | |
| 能代市教育委員会学校訪問から見た各校の授業改善の取組について、教育情報紙「ふいご」で取り上げた。主体的・対話的で深い学びに特化した紹介にはならなかったが、能代市の授業づくりの重点を意識した授業づくりにつながった。 | | | | | | |

| | |
|--------------------------------|---|
| <p>課題及び 今後の取組の 方向性</p> | <p><input type="checkbox"/>拡充 <input checked="" type="checkbox"/>継続 <input type="checkbox"/>廃止検討 <input type="checkbox"/>その他（ ）</p> <p>[具体的な課題及び取組]</p> <p>1 基本的な学習習慣の確立については、小・中連携による継続的、系統的な 学び方指導、家庭への啓発等を引き続き各学校に指導する。</p> <p>2 新学習指導要領で示された「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けて、 授業改善を目指し、各種研修会や広報等で広く周知する。</p> |
| <p>学識経験者 の意見</p> | <p><input checked="" type="checkbox"/>多くの取り組みの成果が表れている。学校がある日の勉強時間で、小学5年及 び中学2年は、昨年度の小学4年及び中学1年の時よりも数値が下がってお り、重点的な取り組みをお願いしたい。また、GIGAスクールに関連して、ICT の活用に積極的に取り組んでいただきたい。</p> <p><input type="checkbox"/>「ふだんの授業では、学校の友達との間で話し合う活動をよく行っていると思 う」の割合が、すべての学年で目標値、県平均を上回っている点が評価できま す。能代市教育委員会の指導のもとに、「主体的・対話的で深い学び」の授業 を構築している教員の力量ととらえています。その結果が、全国学力・学習状 況調査、秋田県学習状況調査にも高い評価として表れています。</p> <p><input type="checkbox"/>各校の特色ある教育活動、各教科等の授業実践、教育委員会による研修会の成 果等が紹介されている教育情報紙「ふいご」は、各校の教育活動を推進する上 で非常に役立っています。</p> |

とができた。
 ・日々の実践に生かすことのできる内容を取り上げることで、各学校の取り組みに生かしている。例えば、今年度から、各校の教職員が様々な学習活動において、積極的に児童生徒にタブレットを活用させており、昨年度の各校で行ったタブレット研修会が役に立っている。
 ・新型コロナにより、実施できなかった研修会等が多く、実践知の継承と共有を意図的に進めていくことが難しかった。

課題及び今後の取組の方向性 拡充 継続 廃止検討 その他 ()

[具体的な課題及び取組]
 ① ミドルリーダーを育成する研修の充実を図る。
 ・豊島区との教育交流事業の充実によるミドルリーダーの実践的指導力の向上
 ただし、令和3年度は、2年度に引き続き、教員研修は中止
 ・教務主任・研究主任協議会の充実
 ② 教科等の実践的指導力向上に関する研修の充実を図る。
 ・要請訪問での研究会のコーディネートや指導助言による各校の研修会の充実
 ・タブレット、電子黒板やデジタル教科書等、ICTを活用した効果的な授業づくりの推進
 ・算数・数学学力向上研修会での小・中学校の学びの連続性及び秋田の探究型授業等への理解を深める講義、ICT活用に関する協議の実施
 ③ 生徒指導の機能を指導に生かすための研修の充実を図る。
 ・市教育委員会指導主事と児童生徒支援アドバイザーによる全ての小・中学校訪問の実施
 ・心の教室相談員を対象とした研修会の実施
 ④ 特別支援教育の充実を図る。
 ・幼保小連携推進協議会や特別支援教育学級担任等研修会の開催等、学校のニーズに応じ、教育力を高めるための研修会の実施
 ・特別教育支援指導員・支援員を対象とした情報共有の場の設定（学期1回）

新型コロナにより、研修会等を中止、延期、縮小したりしているため、例年より十分な研修を提供することができていない。今後の見通しをもつことはまだ困難であるが、今後も各学校において能代市が目指す教育の方向性への理解が深まり、教員一人一人の指導力が一層高まるよう、新型コロナ予防対策を十分に行いながら、各学校の実情と教育課題等に即した実践的な研修を企画、実施していく。

学識経験者の意見
 ○タブレット研修会は、GIGAスクールに対応した時宜を得たものであり、継続的に取り組んでいただきたい。ベテラン教員の大量退職が始まり、若手教員が増えてくるので、それに向けた体制づくりに取り組んでいただきたい。
 今回の学習指導要領改訂で新たに導入された「プログラミング教育」を推進するために、「タブレット研修会」を計画・実施したことは、教員の資質向上につながっています。現在、ICTを活用した効果的な授業が展開されています。
 秋田県学習状況調査等の結果分析をもとに、秋田の探究型授業の構築を目指した「算数・数学学力向上研修会」を設定したことは、教員の授業の質を高めるために有効な研修会となっています。
 豊島区との教育交流事業は中止となりましたが、これまで大きな成果をあげてきた事業ですので、今後も教員の有意義な研修の場として継続してほしいと思います。

| 基本目標 | 2 豊かな人間性を育む学校教育の推進 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|---------------|---|--------|-------|-----------------------------|-------|--|--------|--------|-------|----------|-------|---------|----|-----|-----|------|----|----------|----|----|----|------|-----|
| 施策項目 | ⑤ 安全・安心な学校教育環境の整備 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 方針・目標 | 子どもたちの安全を守るための能力の育成や学校安全の徹底を推進します。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 事業・取組名 | 学校安全の推進 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 目標値 | 学校生活における児童生徒の事故発生率で、過去3年間の平均値を下回ることを目指します。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 事務事業の実績 | <p>学校安全の推進</p> <p>①教育活動における安全指導</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>平成29年度</th> <th>平成30年度</th> <th>令和元年度</th> <th>過去3年間の平均</th> <th>令和2年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>登下校時の事故</td> <td>6件</td> <td>11件</td> <td>12件</td> <td>9.7件</td> <td>6件</td> </tr> <tr> <td>校内における事故</td> <td>6件</td> <td>6件</td> <td>7件</td> <td>6.3件</td> <td>24件</td> </tr> </tbody> </table> <ul style="list-style-type: none"> ・学校訪問等で学校安全に関する指導助言を行った。 ・市内生徒主事会で各校の生徒指導主事に事故発生状況を伝えるとともに、安全に関する指導助言を行った。 <p>②各学校の実態に応じた安全点検等の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・関係機関と連携して通学路点検と協議を行い、通学路の改善を図った。 <p>③学校給食における食の安全の取組</p> <ul style="list-style-type: none"> ・食育デー（毎月19日）に地場産物を多く使用した献立を提供した。 ・アレルギーの児童生徒を把握し、代替給食を提供した。（49人） ・危険な異物等が給食に入り込まないように、衛生管理面の徹底に努めた。 | | | | | | 平成29年度 | 平成30年度 | 令和元年度 | 過去3年間の平均 | 令和2年度 | 登下校時の事故 | 6件 | 11件 | 12件 | 9.7件 | 6件 | 校内における事故 | 6件 | 6件 | 7件 | 6.3件 | 24件 |
| | 平成29年度 | 平成30年度 | 令和元年度 | 過去3年間の平均 | 令和2年度 | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 登下校時の事故 | 6件 | 11件 | 12件 | 9.7件 | 6件 | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 校内における事故 | 6件 | 6件 | 7件 | 6.3件 | 24件 | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 点検・評価 | 対象年度 | R 1 | R 2 | A 目標を上回る B ほぼ目標どおり | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 評価 | B | C | C 目標をやや下回る D 目標を大幅に下回る | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | <p>[説明]</p> <p>学校安全の推進</p> <p>①登下校時の事故は6件（過去3年間の平均9.7件）、校内における事故は24件（過去3年間の平均6.3件）で、学校生活における事故の合計は30件となり、過去3年間の平均16件を上回る結果であった。学校には、些細な事故であっても、発生した場合は速やかに第一報を入れてもらうようお願いしている。</p> <p>②関係機関と連携し、通学路の安全点検を合同で実施し、専門家の視点から児童生徒の安全面を考慮した改善を進めることができた。（令和2年度：各校からの点検・改善要望27箇所。対策済み22箇所、対策予定3箇所、対策検討2箇所）</p> <p>③学校給食における危険な異物等の混入は0件。食物アレルギーによるアナフィラキシーの発生件数は0件。</p> <p>関係機関等と連携し周知を図っていることから、助成対象者が増加している。</p> | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 課題及び今後の取組の方向性 | <input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> その他（ ） | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | <p>[具体的な課題及び取組]</p> <p>学校安全の推進</p> <p>学校、地域、保護者、関係機関との連携を密にし、多くの目で児童生徒を見守る体制づくりを推進し、事故防止に努めていく。</p> | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

| | |
|-----------------|---|
| <p>学識経験者の意見</p> | <p>○引き続き、学校安全の確保と、経済的な支援を充実させていただきたい。特に、登下校時の事故が全国的には問題となっており、引き続き、通学路の点検をこまめに行っていただきたい。</p> <p>□校内における事故24件は、過去3年間の平均6.3件を大幅に上回っています。原因を追究し、教育委員会の指導のもと、各小・中学校の安全教育を充実させる必要があります。</p> <p>□通学路の安全を確保するため、関係機関と連携して合同点検を行い、危険箇所の改善を進めている点は評価できます。今後、「通学路交通安全プログラム」「通学路安全対策一覧」を活用し、PDCAサイクルのもと通学路の安全確保に努めてほしいと思います。</p> <p>□学校栄養士と学校担当教員との連携を図りながら、個の実態を十分把握した上で、食物アレルギー児童生徒へきめ細かに対応しています。その結果、発生件数が0件となっており、安心・安全な学校給食となっています。</p> |
|-----------------|---|

| | | | | |
|---------------|--|-----|-----|------------------------|
| 基本目標 | 2 豊かな人間性を育む学校教育の推進 | | | |
| 施策項目 | ⑤ 安全・安心な学校教育環境の整備 | | | |
| 方針・目標 | 経済的理由により就学困難と認められる児童生徒の保護者等に対する支援を一層充実させ、子どもたちが安全・安心に過ごせる良好な教育環境をつくります。 | | | |
| 事業・取組名 | 就学援助、奨学金貸付事業及び奨学金返還助成事業の周知徹底と利用促進 | | | |
| 目標値 | 就学援助、奨学金貸付事業及び奨学金返還助成事業の周知徹底を図るとともに、利用促進に努めます。 | | | |
| 事務事業の実績 | <p>1 就学援助（令和3年3月末現在） 要保護 43 人、準要保護 732 人、認定割合は 25.7%（元年度 24.7%） 県内でも高い水準となっている。</p> <p>2 能代市奨学金貸付事業 採用者数：令和2年度 18 人（高校 1 人、大学等 17 人）（元年度 18 人） 令和2年度奨学生追加募集（新型コロナウイルス感染症対策事業） 応募者：0 人</p> <p>3 ふるさと人材育成・定住促進奨学金貸付事業 採用者数：令和2年度 23 人（能代 20 人、三種 2 人、八峰 1 人） （元年度 25 人）</p> <p>4 奨学金返還助成事業 助成者数：令和2年度 7 人（元年度 4 人）</p> | | | |
| 点検・評価 | 対象年度 | R 1 | R 2 | A 目標を上回る B ほぼ目標どおり |
| | 評価 | B | B | C 目標をやや下回る D 目標を大幅に下回る |
| | <p>[説明]</p> <p>1 就学援助 ・制度の周知が図られていることなどから、認定割合が上昇傾向にある。</p> <p>2 能代市奨学金貸付事業 ・8月から募集を開始し、随時追加募集を行ったことから、AO入学等様々な時期に対応でき、採用者が定員を満たした。 ・新型コロナ対策として、令和2年度奨学生の追加募集を行ったが、応募者がいなかった。</p> <p>3 ふるさと人材育成・定住促進奨学金貸付事業 ・随時追加募集を行い周知を図ったが、応募者、採用者が定員に満たなかった。</p> <p>4 奨学金返還助成事業 ・関係機関等と連携し周知を図っていることから、助成対象者が増加している。</p> | | | |
| 課題及び今後の取組の方向性 | <input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> その他（ ） <p>[具体的な課題及び取組]</p> <p>・奨学金貸付事業については、申請要件の見直しを行うなど、引き続き利用促進に向けて取り組む。</p> | | | |
| 学識経験者の意見 | <p>○子どもの貧困の問題は、コロナ禍で悪化することも予想されることから、各種の事業で積極的に取り組んでいただきたい。</p> <p>□能代市奨学金貸付事業の採用者が定員を満たしているのは、制度の周知が図られているからだと思えます。ふるさと人材育成・定住促進奨学金貸付事業の募集方法を工夫し、定員を満たすことができるよう努力してください。</p> | | | |

| |
|--|
| <input type="checkbox"/> 新型コロナ対策として、能代市奨学金貸付事業で追加募集を行ったことは、適切な判断だといえます。経済的に困難な学生等が活用可能な支援策として、今後もタイミングよく追加募集することが対応策として考えられます。 |
|--|

| | | | | |
|--|---|-----|-----|-----------------------------|
| 基本目標 | 2 豊かな人間性を育む学校教育の推進 | | | |
| 施策項目 | ⑤ 安全・安心な学校教育環境の整備 | | | |
| 方針・目標 | 学校施設・設備の計画的な整備に取り組みます。 | | | |
| 事業・取組名 | 1 学校施設の老朽化対策等の推進 2 学校施設的环境改善の推進 | | | |
| 目標値 | 1 老朽化対策については、能代市公共施設等総合管理計画及び教育施設等長寿命化計画に基づき順次実施します。また、安全・安心に重大な影響が見込まれるものについては、早期対応を図ります。 2 環境改善については、予定しているトイレ改修、エアコン設置を順次実施します。 | | | |
| 事務事業の実績 | 1 学校施設の老朽化対策等の推進 ①長寿命化計画に基づく事業実施 向能代小の大規模改修（屋上防水、外壁、教室・廊下の床改修等）Ⅱ期工事及び淳城南小のⅠ期工事を行った。国交付金の追加配分に機を逃さず要望し、淳城南小Ⅱ期工事の採択を得て3月定例会で予算措置した。※令和3年度工事 ②常時の調査・点検等 法定・任意点検、職員による随時巡回等により状況を把握し、優先度を考慮し対応した。 2 学校施設的环境改善の推進 ①トイレの改修 洋式トイレが不足している淳城南小、能代第一中、能代第二中、能代南中、二ツ井中の5校について、改修工事を実施した。 ② エアコンの設置 小学校6校の設置工事を行った。残りの第五小及び中学校6校について、国交付金前倒し要望等の採択を得て9月定例会で予算措置し、令和2年度契約、3年6月末までに設置できる見込みとなった。 | | | |
| 点検・評価 | 対象年度 | R 1 | R 2 | A 目標を上回る B ほぼ目標どおり |
| | 評価 | A | A | C 目標をやや下回る D 目標を大幅に下回る |
| [説明] | | | | |
| 1 学校施設の老朽化対策等の推進 ○向能代小大規模改修Ⅱ期工事の実施 ○淳城南小大規模改修Ⅰ期工事の実施 ◎淳城南小大規模改修Ⅱ期工事の前倒し予算措置 ○各種法定点検、調査結果等により必要となった整備の実施 | | | | |
| 2 学校施設的环境改善の推進 ◎順次改修を進める予定（年間1校）としていたトイレ改修工事について、淳城南小、能代第一中、能代第二中、能代南中、二ツ井中を前倒しで全て実施 ○小学校6校エアコン設置工事の実施 ◎第五小及び中学校エアコン設置について、令和3年度実施予定（5月契約、11月末完成予定）を前倒し。令和2年度から設置を進め、夏季前の3年6月末までに設置を完了し、全ての小中学校で稼働できる見込みとなった。 | | | | |

| | |
|--------------------------------|--|
| <p>課題及び 今後の取組の 方向性</p> | <p><input type="checkbox"/>拡充 <input checked="" type="checkbox"/>継続 <input type="checkbox"/>廃止検討 <input type="checkbox"/>その他（ ）</p> <p>[具体的な課題及び取組]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大規模改修等に充てる財源の確保 <p>能代市教育施設等長寿命化計画に基づき整備計画を国へ示し、引き続き交付金の獲得と有利な起債の活用に努める。また、交付金の追加配分等のチャンスがあれば、時期を逃さず積極的に要望していく。</p> |
| <p>学識経験者 の意見</p> | <ul style="list-style-type: none"> ○建物改修、トイレ改修、エアコン設置など、環境改善が進んできている。今後も予算獲得などに努めていただきたい。 □トイレの改修、エアコンの設置等、学校施設の環境改善が進められており、きれいな学校、住みよい学校が実現されてきています。熱中症や衛生面の対策にもなっており、子どもたちにとって安心して安全な学校となっています。学習意欲も高まると考えます。 □校舎の雨漏れが子どもの学習活動に支障を来していると聞くことがあります。対応策を考えてほしいと思います。 □財源の確保については、この後も国の動向を注視して、タイミングを逸することなく交付金の確保に努めてほしいと思います。 |

【 生涯学習・スポーツ振興課 】

| | | | | |
|---------|--|-----|-----|------------------------|
| 基本目標 | 3 より心豊かで生き生きとした暮らしにつながる学びの場づくりの推進 | | | |
| 施策項目 | ① 学習の成果を地域に生かす取り組みの推進 | | | |
| 方針・目標 | 市民の学習意欲を高められるよう学習環境の整備とともに、学びの成果を地域に生かすことができるよう生涯学習諸施策の充実を図ります。 | | | |
| 事業・取組名 | 生涯学習推進事業 | | | |
| 目標値 | 出前講座の利用件数で、過去3年間の平均値以上を目指します。 | | | |
| 事務事業の実績 | <p>1 生涯学習推進体制</p> <p>(1) 生涯学習推進本部（本部長－市長、本部員－部長等）</p> <p>(2) 生涯学習推進協議会（12人）</p> <p>(3) 生涯学習奨励員（26人）</p> <p>(4) 社会教育指導員（1人）</p> <p>2 情報提供</p> <p>(1) 生涯学習関連事業の作成（生涯学習推進協議会委員等へ配布）</p> <p>(2) 広報のしるへの「生涯学習のしる」掲載（年2回）</p> <p>(3) ホームページによる情報提供（随時）</p> <p>(4) 地元新聞による情報提供</p> <p>3 学習環境の整備</p> <p>出前講座 利用件数 R2： 73件 （R1： 122件）</p> <p>受講者延べ R2：2,800人 （R1：3,769人）</p> <p>4 人材の活用・育成</p> <p>生涯学習奨励員の活動促進</p> <p>ア 奨励員同士の交流及び資質向上のための学習機会を提供</p> <ul style="list-style-type: none"> ・能代市山本郡生涯学習奨励員地区連絡協議会研究大会 ・能代市生涯学習奨励員協議会移動研修 <p>イ マナブゥ市での交流（工作、手芸等） ※中止</p> <p>ウ 生涯学習のつどい（工作、料理等）※奨励員自主事業、中止</p> | | | |
| 点検・評価 | 対象年度 | R 1 | R 2 | A 目標を上回る B ほぼ目標どおり |
| | 評価 | A | — | C 目標をやや下回る D 目標を大幅に下回る |
| | <p>[説明]</p> <p>① 出前講座利用件数 R2：73件</p> <p>→<u>過去3年間の平均値</u> 112件 (R1：122件、H30：122件、H29：94件)</p> <p>新型コロナの影響により、自治会等からの利用件数が大幅に減少しており、目標値としている出前講座の利用件数の比較は困難であるため、評価を見送った。</p> <p>② 市民意識調査「学んだ知識や特技を地区活動や行事で発揮することを心がけている市民の割合」</p> <p>→R2：14.8% (R1：15.1%、H30：12.7%、H29：19.8%)</p> <p>③ 第3次能代市社会教育振興中期計画に基づく実施事業数</p> <p>→R2：87項目 (R1：105項目)</p> <p>公民館祭、地区文化祭、銀河フェスティバル等の大人数の参加が見込まれる項目が減となったものの、新型コロナの感染防止に取り組みながら、市民へ学</p> | | | |

| | |
|---------------|---|
| | <p>びの機会の提供を実施した。</p> <p>④生涯学習ボランティア登録者数 → R2 : 44人 (R1 : 53人)</p> <p>⑤生涯学習奨励員を講師とした体験活動や講座を実施、小学生を対象とした週末体験活動では、活動を通して異世代交流が図られた。</p> |
| 課題及び今後の取組の方向性 | <p><input type="checkbox"/>拡充 <input checked="" type="checkbox"/>継続 <input type="checkbox"/>廃止検討 <input type="checkbox"/>その他 ()</p> <p>[具体的な課題及び取組]</p> <p>①「いつでも、どこでも、だれでも」学べる環境づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市民意識調査や講座終了後のアンケート結果を参考とし、市民の学習ニーズや地域課題を把握しながら、それに対応した学習機会の提供に努める。 ・広報、ホームページ、新聞等の活用により、講座情報の周知拡大を図り、学べる環境づくりに努める。 <p>②学びの成果を社会に還元する場や機会の創出</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学んだ知識や特技を地区活動等で発揮することができるよう、研修会等で意識づけを図る。 ・発表、交流の場の提供に努め、学習を通じた生きがいづくりを支援する。 <p>③子どもと大人がともに学び合い育ち合う地域づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域資源(人・自然・行事等)を生かした体験活動の充実を図る。 ・世代を超えて多様な価値観や考え方に共感できるよう世代間交流を促進する。 ・学校、家庭、地域を繋げるコーディネーターの育成を図り、人と地域を繋ぐ仕組みづくりをすすめる。 |
| 学識経験者の意見 | <p>○コロナ禍では致し方ないところと思われる。コロナ禍、新しい生活様式における生涯学習の推進の在り方について追求していただきたい。</p> <p>□新型コロナの影響により実施できなかつたり利用件数が減少したりした事業がありますが、感染防止に取り組みながら学びの機会を提供してきたことは評価が高いと考えます。今後、異世代交流活動の場の設定や、市民のニーズに対応した学習機会の提供を目指し、学び合い育ち合う地域づくりに努めてください。</p> |

| 基本目標 | 3 より心豊かで生き生きとした暮らしにつながる学びの場づくりの推進 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|----------------|---|--------------------|---------|--------------------|------|--------------------|----|------|------|--------|------|----|------|------|---------|-------|-----|------|------|---------|-------|-----|------|------|---------|-------|----------|------|------|---------|-------|----------|------|------|---------|--------|----|---------|----|----|------|----------------|--------------------|--------------------|---|------|------|------|-------|----|------|------|----------|-------|---|-----|-------------|---------|---|-----|------|------------|------|----|------|--------------|------|---|------|----------|------|---|-----|------------|------|---|-----|-------|-----------|-----|----|------|------|----------|-----|---|----|----------|----------|------|---|-----|-----|--|--|-----|--------|
| 施策項目 | ② 市民ニーズや地域課題に対応した多様な学習機会の提供と充実 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 方針・目標 | 現代的課題やニーズに応じた講座等を開催するとともに、参加しやすい環境を整えます。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 事業・取組名 | 公民館活動事業 勤労青少年ホーム活動事業 働く婦人の家活動事業 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 目標値 | 講座数及び参加者数の過去3年間の平均値との比較で、平均値以上を目指します。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 事務事業の 実績 | <p>1 中央公民館・地区公民館等開設講座・事業数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>講座数</th> <th>回数</th> <th>参加者数</th> <th>対人口比 (各年3.31現在)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R2</td> <td>32講座</td> <td>145回</td> <td>2,182人</td> <td>4.2%</td> </tr> <tr> <td>R1</td> <td>40講座</td> <td>211回</td> <td>10,594人</td> <td>20.4%</td> </tr> <tr> <td>H30</td> <td>39講座</td> <td>247回</td> <td>11,208人</td> <td>20.8%</td> </tr> <tr> <td>H29</td> <td>36講座</td> <td>266回</td> <td>10,791人</td> <td>19.7%</td> </tr> <tr> <td>H29～R1平均</td> <td>38講座</td> <td>241回</td> <td>10,864人</td> <td>20.3%</td> </tr> <tr> <td>3年平均との比較</td> <td>△6講座</td> <td>△96回</td> <td>△8,682人</td> <td>△16.1%</td> </tr> </tbody> </table> <p>2 中央公民館・地区公民館等開催講座内訳（数値は延べ数）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>分野</th> <th>おもな事業内容</th> <th>対象</th> <th>回数</th> <th>参加者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>家庭教育 (幼児教育)</td> <td>親子体験活動 食育体験学習ほか</td> <td>年中・年長児・ 小学生と保護者</td> <td>7</td> <td>147人</td> </tr> <tr> <td>少年教育</td> <td>体験活動</td> <td>地区小学生</td> <td>21</td> <td>324人</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">青年教育</td> <td>ボランティア育成</td> <td>中・高校生</td> <td>3</td> <td>78人</td> </tr> <tr> <td>障がい者の生涯学習支援</td> <td>支援学校生ほか</td> <td>8</td> <td>93人</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">成人教育</td> <td>集合学習（市民学校）</td> <td>一般成人</td> <td>30</td> <td>429人</td> </tr> <tr> <td>集合学習（その他講座等）</td> <td>一般成人</td> <td>7</td> <td>191人</td> </tr> <tr> <td>働く婦人の家講座</td> <td>一般成人</td> <td>7</td> <td>63人</td> </tr> <tr> <td>勤労青少年ホーム講座</td> <td>一般成人</td> <td>2</td> <td>13人</td> </tr> <tr> <td>高齢者教育</td> <td>集合学習（寿大学）</td> <td>高齢者</td> <td>21</td> <td>575人</td> </tr> <tr> <td>文化活動</td> <td>公民館祭・文化祭</td> <td>市民等</td> <td>0</td> <td>0人</td> </tr> <tr> <td>コミュニティ活動</td> <td>地域づくり講演会</td> <td>一般成人</td> <td>2</td> <td>75人</td> </tr> <tr> <td colspan="3">合 計</td> <td>145</td> <td>2,182人</td> </tr> </tbody> </table> <p>3 講座周知方法</p> <ul style="list-style-type: none"> ○中央公民館ほか（指定管理） …… 広報・新聞・フリー情報誌・ホームページ・フェイスブック・Twitter ○二ツ井公民館（指定管理） …… 広報・新聞・フリー情報誌・ホームページ ○地区公民館 …… （地域住民）チラシ （地域以外）広報 | 年度 | 講座数 | 回数 | 参加者数 | 対人口比 (各年3.31現在) | R2 | 32講座 | 145回 | 2,182人 | 4.2% | R1 | 40講座 | 211回 | 10,594人 | 20.4% | H30 | 39講座 | 247回 | 11,208人 | 20.8% | H29 | 36講座 | 266回 | 10,791人 | 19.7% | H29～R1平均 | 38講座 | 241回 | 10,864人 | 20.3% | 3年平均との比較 | △6講座 | △96回 | △8,682人 | △16.1% | 分野 | おもな事業内容 | 対象 | 回数 | 参加者数 | 家庭教育 (幼児教育) | 親子体験活動 食育体験学習ほか | 年中・年長児・ 小学生と保護者 | 7 | 147人 | 少年教育 | 体験活動 | 地区小学生 | 21 | 324人 | 青年教育 | ボランティア育成 | 中・高校生 | 3 | 78人 | 障がい者の生涯学習支援 | 支援学校生ほか | 8 | 93人 | 成人教育 | 集合学習（市民学校） | 一般成人 | 30 | 429人 | 集合学習（その他講座等） | 一般成人 | 7 | 191人 | 働く婦人の家講座 | 一般成人 | 7 | 63人 | 勤労青少年ホーム講座 | 一般成人 | 2 | 13人 | 高齢者教育 | 集合学習（寿大学） | 高齢者 | 21 | 575人 | 文化活動 | 公民館祭・文化祭 | 市民等 | 0 | 0人 | コミュニティ活動 | 地域づくり講演会 | 一般成人 | 2 | 75人 | 合 計 | | | 145 | 2,182人 |
| 年度 | 講座数 | 回数 | 参加者数 | 対人口比 (各年3.31現在) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| R2 | 32講座 | 145回 | 2,182人 | 4.2% | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| R1 | 40講座 | 211回 | 10,594人 | 20.4% | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| H30 | 39講座 | 247回 | 11,208人 | 20.8% | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| H29 | 36講座 | 266回 | 10,791人 | 19.7% | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| H29～R1平均 | 38講座 | 241回 | 10,864人 | 20.3% | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 3年平均との比較 | △6講座 | △96回 | △8,682人 | △16.1% | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 分野 | おもな事業内容 | 対象 | 回数 | 参加者数 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 家庭教育 (幼児教育) | 親子体験活動 食育体験学習ほか | 年中・年長児・ 小学生と保護者 | 7 | 147人 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 少年教育 | 体験活動 | 地区小学生 | 21 | 324人 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 青年教育 | ボランティア育成 | 中・高校生 | 3 | 78人 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 障がい者の生涯学習支援 | 支援学校生ほか | 8 | 93人 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 成人教育 | 集合学習（市民学校） | 一般成人 | 30 | 429人 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 集合学習（その他講座等） | 一般成人 | 7 | 191人 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 働く婦人の家講座 | 一般成人 | 7 | 63人 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 勤労青少年ホーム講座 | 一般成人 | 2 | 13人 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 高齢者教育 | 集合学習（寿大学） | 高齢者 | 21 | 575人 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 文化活動 | 公民館祭・文化祭 | 市民等 | 0 | 0人 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| コミュニティ活動 | 地域づくり講演会 | 一般成人 | 2 | 75人 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 合 計 | | | 145 | 2,182人 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

| | | | | | |
|---------------|--|-----|-----|------------|-------------|
| 点検・評価 | 対象年度 | R 1 | R 2 | A 目標を上回る | B ほぼ目標どおり |
| | 評価 | B | — | C 目標をやや下回る | D 目標を大幅に下回る |
| | <p>[説明]</p> <p>① 公民館の講座等については、過去3年間の平均241回・10,864人に対し、2年度は145回・2,182人で、回数、参加者数ともに減少している。これは新型コロナ対策による休館や活動自粛、定員数の削減、講座や地区文化祭の中止によるものである。</p> <p>② 中央公民館では、平成30年度から国委託「障害者の生涯学習支援モデル事業」を受託し、学校卒業後の障がい者が社会で自立して生きるために必要となる力を伸ばす目的で各種講座を開催した。</p> <p>③ ニツ井公民館では、地元出身者を講師に招き、小学生を対象にドリーム教室を開催し、小学生に夢を与える事業を展開している。</p> <p>※ 新型コロナの影響により、講座数及び参加者数の減少が大きく、目標値としている過去3年間の平均値との比較は困難であることから、評価を見送った。</p> | | | | |
| 課題及び今後の取組の方向性 | <input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> その他 () | | | | |
| | <p>[具体的な課題及び取組]</p> <p>1 市民のニーズにあった講座等の開設</p> <p>① アンケート等による市民ニーズの把握に努める。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中央公民館では「障害者の生涯学習支援モデル事業」を継続し、より効果的な学習プログラムを模索していく。「ボランティア育成講座」では、対象を中学生までとし、広く参加者を募る。 ・参加者アンケートでは、満足度を数値化できるような設問を設定し、更なるニーズの把握に努める。 <p>② 講座へ参加しやすい時間帯の設定や、他行事と重ならないような日程調整を引き続き行っていく。</p> <p>2 多様な手法による情報提供</p> <p>指定管理施設では広報やホームページ、SNSを活用した情報提供のほか、フリー情報誌などにも広告を掲載し幅広い情報提供を試みているが、基幹サイトであるホームページの更新頻度が低いなど課題がある。</p> <p>3 指定管理者等との連携</p> <p>① 引き続き指定管理者との月例打ち合わせを行い、情報交換を密にする。</p> <p>② 中央公民館・地区館の事業担当者間の情報交換の場として公民館長会議を年3回実施する。</p> | | | | |
| 学識経験者の意見 | <p>○コロナ禍では致し方ないところと思われる。コロナ禍、新しい生活様式における講座・事業の在り方について追求していただきたい。</p> <p>□中央公民館・地区公民館等開催講座の中で、少年教育の体験活動、成人教育の市民学校、高齢者教育の寿大学の参加者が多く、人気が高いことがうかがわれます。これからもさまざまな世代に対し、ニーズに応じた多様な学びの機会を提供する講座を開設してほしいと思います。そのためにもアンケートの項目を見直して実施し、市民のニーズの把握に努めることが重要になります。</p> | | | | |

| 基本目標 | 3 より心豊かで生き生きとした暮らしにつながる学びの場づくりの推進 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|-----------|---|---------|--------------------|--|--------------------|-----|----|-----|-------|--------|------|-----|-------|--------|------|-----|-------|--------|------|-----|-------|--------|------|----------|-------|--------|------|-----------|-------|-------|-------|----|---------|------|-----|------|-----|-----|------|-----|-----|------|-----|-----|------|-----|----------|------|-----|-----------|-----|------|----|----|------|-----|-----|------|-----|-----|--------|-----|-----|--------|-----|-----|--------|----------|-----|--------|-----------|------|---------|
| 施策項目 | ③ 学習を通じた生きがいつくり、仲間づくりの支援 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 方針・目標 | 自主的な学習活動を支援し、学習成果の発表の場及び交流の場の確保、提供に努めます。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 事業・取組名 | 公民館活動事業 勤労青少年ホーム活動事業 働く婦人の家活動事業 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 目標値 | 1 自主学習グループ等登録団体数が過去3年間の平均値との比較で、平均値以上を目指します。 2 寿大学の参加者数が過去3年間の平均値との比較で、平均値以上を目指します。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 事務事業の実績 | <p>1 グループ等登録状況</p> <p>① 自主学習グループ等登録団体数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">年度</th> <th colspan="2">自主学習グループ等合計</th> <th rowspan="2">対人口比 (各年3.31現在)</th> </tr> <tr> <th>団体数</th> <th>人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R 2</td> <td>270団体</td> <td>3,518人</td> <td>6.9%</td> </tr> <tr> <td>R 1</td> <td>288団体</td> <td>3,800人</td> <td>7.3%</td> </tr> <tr> <td>H30</td> <td>279団体</td> <td>3,733人</td> <td>6.9%</td> </tr> <tr> <td>H29</td> <td>285団体</td> <td>3,905人</td> <td>7.1%</td> </tr> <tr> <td>H29～R1平均</td> <td>284団体</td> <td>3,813人</td> <td>7.1%</td> </tr> <tr> <td>3ヵ年平均との比較</td> <td>△14団体</td> <td>△295人</td> <td>△0.2%</td> </tr> </tbody> </table> <p>※自主学習グループ+働く婦人の家利用グループ</p> <p>② 勤労青少年ホーム利用者連絡協議会登録者数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>利用グループ数</th> <th>登録人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R 2</td> <td>11団体</td> <td>42人</td> </tr> <tr> <td>R 1</td> <td>11団体</td> <td>45人</td> </tr> <tr> <td>H30</td> <td>11団体</td> <td>52人</td> </tr> <tr> <td>H29</td> <td>11団体</td> <td>58人</td> </tr> <tr> <td>H29～R1平均</td> <td>11団体</td> <td>52人</td> </tr> <tr> <td>3ヵ年平均との比較</td> <td>-団体</td> <td>△10人</td> </tr> </tbody> </table> <p>③ 寿大学参加者数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>回数</th> <th>参加者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R 2</td> <td>21回</td> <td>575人</td> </tr> <tr> <td>R 1</td> <td>53回</td> <td>2,384人</td> </tr> <tr> <td>H30</td> <td>51回</td> <td>2,652人</td> </tr> <tr> <td>H29</td> <td>60回</td> <td>2,698人</td> </tr> <tr> <td>H29～R1平均</td> <td>55回</td> <td>2,578人</td> </tr> <tr> <td>3ヵ年平均との比較</td> <td>△32回</td> <td>△2,003人</td> </tr> </tbody> </table> <p>2 グループ増加への取組</p> <p>① 学習成果発表の場</p> <ul style="list-style-type: none"> ・能代市公民館祭 …………… 中止 ・二ツ井公民館祭 …………… 中止 | 年度 | 自主学習グループ等合計 | | 対人口比 (各年3.31現在) | 団体数 | 人数 | R 2 | 270団体 | 3,518人 | 6.9% | R 1 | 288団体 | 3,800人 | 7.3% | H30 | 279団体 | 3,733人 | 6.9% | H29 | 285団体 | 3,905人 | 7.1% | H29～R1平均 | 284団体 | 3,813人 | 7.1% | 3ヵ年平均との比較 | △14団体 | △295人 | △0.2% | 年度 | 利用グループ数 | 登録人数 | R 2 | 11団体 | 42人 | R 1 | 11団体 | 45人 | H30 | 11団体 | 52人 | H29 | 11団体 | 58人 | H29～R1平均 | 11団体 | 52人 | 3ヵ年平均との比較 | -団体 | △10人 | 年度 | 回数 | 参加者数 | R 2 | 21回 | 575人 | R 1 | 53回 | 2,384人 | H30 | 51回 | 2,652人 | H29 | 60回 | 2,698人 | H29～R1平均 | 55回 | 2,578人 | 3ヵ年平均との比較 | △32回 | △2,003人 |
| 年度 | 自主学習グループ等合計 | | 対人口比 (各年3.31現在) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 団体数 | 人数 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| R 2 | 270団体 | 3,518人 | 6.9% | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| R 1 | 288団体 | 3,800人 | 7.3% | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| H30 | 279団体 | 3,733人 | 6.9% | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| H29 | 285団体 | 3,905人 | 7.1% | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| H29～R1平均 | 284団体 | 3,813人 | 7.1% | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 3ヵ年平均との比較 | △14団体 | △295人 | △0.2% | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 年度 | 利用グループ数 | 登録人数 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| R 2 | 11団体 | 42人 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| R 1 | 11団体 | 45人 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| H30 | 11団体 | 52人 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| H29 | 11団体 | 58人 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| H29～R1平均 | 11団体 | 52人 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 3ヵ年平均との比較 | -団体 | △10人 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 年度 | 回数 | 参加者数 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| R 2 | 21回 | 575人 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| R 1 | 53回 | 2,384人 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| H30 | 51回 | 2,652人 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| H29 | 60回 | 2,698人 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| H29～R1平均 | 55回 | 2,578人 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 3ヵ年平均との比較 | △32回 | △2,003人 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

| | | | | |
|----------------------------|---|-----|-----|-----------------------------|
| | <ul style="list-style-type: none"> ・地区公民館祭 …………… 中止 ・働く婦人の家まつり …………… 中止 ・勤労青少年ホーム「ノシロメガロックボンバー2020」… 中止 ・中央寿大学クラブ発表会 …… 中止 <p>② グループ結成支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中央公民館／市民学校 …… 新規1グループ（フラダンス） ・二ツ井公民館／市民学校…… 新規1グループ（バレトン） | | | |
| 点 検 ・ 評 価 | 対象年度 | R 1 | R 2 | A 目標を上回る B ほぼ目標どおり |
| | 評価 | B | — | C 目標をやや下回る D 目標を大幅に下回る |
| | <p>[説明]</p> <p>① 自主学習グループ等の登録団体については、元年度増加に転じた登録団体数が、2年度は新型コロナの影響により、減少してしまった。</p> <p>② 中央公民館、二ツ井公民館の市民学校が、新たな自主学習グループの結成や既存の自主学習グループへの新たなメンバーの加入につながった。</p> <p>③ 新型コロナへの対応で2年度は各公民館祭を中止としたため学習成果発表の場が失われてしまった。</p> <p>④ 寿大学ほか全ての講座及び公民館事業で、新型コロナ対策のため、開催数、参加人数が大幅減となった。</p> <p>※ 新型コロナの影響により、自主学習グループ等の登録団体数及び寿大学の参加者数の減少が大きく、目標値としている過去3年間の平均値との比較は困難であることから、評価を見送った。</p> | | | |
| 課 題 及 び 今後の取組の 方 向 性 | <input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> その他（ ） | | | |
| | <p>[具体的な課題及び取組]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・単発講座ではなく、市民学校等の複数回の学習や、テーマに沿った課題学習がグループ結成につながりやすいため、今後とも指定管理者と連携しながら、学びの継続を奨励していく。 ・各種講座終了後の発表の場として公民館祭等をとらえ、学習者の意欲を高揚し、学びの継続を促していく。 ・自主学習グループ等会員の高齢化に伴う団体数減や活動人数の減少が課題の1つであるが、人口減少の影響もあることから、人口に対する割合等でも確認していく。 | | | |
| 学 識 経 験 者 の 意 見 | <p>○コロナ禍では致し方ないところと思われる。コロナ禍、新しい生活様式における事業の在り方について追求していただきたい。</p> <p><input type="checkbox"/>新型コロナの影響によりほとんどの事業が中止となりましたが、適切な方針・目標が設定されていますので、今後それに沿った事業の実施に努めてください。</p> <p><input type="checkbox"/>中央公民館の市民学校、二ツ井公民館の市民学校において、新規1グループずつの結成が実現したことは喜ばしいことです。</p> | | | |

| 基本目標 | 3 より心豊かで生き生きとした暮らしにつながる学びの場づくりの推進 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|----------|---|-----|----|-------|----------------------|-------|------------------|-------|----------|--------|-----------|-------|------|--------|--------|-------|---------|--------|-------|----------|----------|------|--------------|
| 施策項目 | ④ 社会教育施設等の適切な運営による、より良い学習環境の充実 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 方針・目標 | 学習者が情報を共有でき、利用しやすい環境を整えます。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 事業・取組名 | 公民館管理運営事業 施設管理事業（勤労青少年ホーム・働く婦人の家） 文化会館管理運営事業 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 目標値 | 施設・設備の状況及び利用者の要望を把握し、計画的に修繕や改修を実施していきます。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 事務事業の実績 | <p>1 施設管理計画の策定</p> <ul style="list-style-type: none"> ・能代市教育施設長寿命化計画 R2.3 策定 <p>2 指定管理者との情報交換</p> <p>定例打合せ 能代市芸術文化協会 月1回 スポカルきみまち 月1回</p> <p>3 自主学习グループアンケート等の改善要望（主なもの）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>施設名</th> <th>内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>中央公民館</td> <td>エレベーター設置、椅子・スクリーンの更新</td> </tr> <tr> <td>東部公民館</td> <td>コピー機、机・椅子の更新、卓球台</td> </tr> <tr> <td>南部公民館</td> <td>洋式トイレ、冷房</td> </tr> <tr> <td>向能代公民館</td> <td>洋式トイレ、冷暖房</td> </tr> <tr> <td>常盤公民館</td> <td>特になし</td> </tr> <tr> <td>二ツ井公民館</td> <td>音響照明設備</td> </tr> <tr> <td>二ツ井分館</td> <td>コピー機、冷房</td> </tr> <tr> <td>働く婦人の家</td> <td>洋式トイレ</td> </tr> <tr> <td>勤労青少年ホーム</td> <td>洋式トイレ、冷房</td> </tr> <tr> <td>文化会館</td> <td>エレベーター設置、ピアノ</td> </tr> </tbody> </table> <p>※鶴形公民館、檜山公民館は市民活力推進課が所管</p> <p>4 施設・設備改修（主なもの）</p> <p>ア 文化会館</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 非常口ドア取替修繕 5 6 1 千円 ・ 自動ドア装置修繕 3 4 1 千円 ・ 高圧区分開閉器更新工事 9 1 3 千円 ・ 重油地下タンク漏洩防止対策工事 5, 5 0 0 千円 <p>イ 働く婦人の家</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ エアコン設置工事 5, 8 0 9 千円 <p>ウ 地区公民館</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 照明器具交換ほか修繕（南部公民館） 1 7 0 千円 ・ トップライト防水工事（南部公民館） 3 3 0 千円 | 施設名 | 内容 | 中央公民館 | エレベーター設置、椅子・スクリーンの更新 | 東部公民館 | コピー機、机・椅子の更新、卓球台 | 南部公民館 | 洋式トイレ、冷房 | 向能代公民館 | 洋式トイレ、冷暖房 | 常盤公民館 | 特になし | 二ツ井公民館 | 音響照明設備 | 二ツ井分館 | コピー機、冷房 | 働く婦人の家 | 洋式トイレ | 勤労青少年ホーム | 洋式トイレ、冷房 | 文化会館 | エレベーター設置、ピアノ |
| 施設名 | 内容 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 中央公民館 | エレベーター設置、椅子・スクリーンの更新 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 東部公民館 | コピー機、机・椅子の更新、卓球台 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 南部公民館 | 洋式トイレ、冷房 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 向能代公民館 | 洋式トイレ、冷暖房 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 常盤公民館 | 特になし | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 二ツ井公民館 | 音響照明設備 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 二ツ井分館 | コピー機、冷房 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 働く婦人の家 | 洋式トイレ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 勤労青少年ホーム | 洋式トイレ、冷房 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 文化会館 | エレベーター設置、ピアノ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

| | | | | | |
|---------------|---|-----|----------|------------|-------------|
| 点検・評価 | 対象年度 | R 1 | R 2 | A 目標を上回る | B ほぼ目標どおり |
| | 評価 | B | B | C 目標をやや下回る | D 目標を大幅に下回る |
| | <p>[説明]</p> <p>① 指定管理者との月例打ち合わせで、生涯学習の推進と利用者の利便性向上に向けた協議を行った。</p> <p>② 施設や設備の老朽化に伴い改修箇所が増加傾向であるが、優先順位をつけて計画的に対応した。</p> | | | | |
| 課題及び今後の取組の方向性 | <input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> その他 () | | | | |
| | <p>[具体的な課題及び取組]</p> <p>① 指定管理者等との連携</p> <ul style="list-style-type: none"> ・引き続き指定管理者との月例打ち合わせを行うほか、メール等も活用して随時情報交換を行う。 ・中央公民館、地区公民館の情報交換の場として引き続き公民館長会議を実施する。 <p>② 施設・設備の修繕</p> <p>引き続き指定管理者と連携しながら施設・設備の状態を把握し、計画を立てて修繕や改修を実施するよう努める。</p> | | | | |
| 学識経験者の意見 | <p>○財政的に厳しい中ではあるが、改修等が図られており、今後も計画的に取り組んでいただきたい。</p> <p>□計画的に修繕や改善を実施していく上で、自主学习グループアンケートが活かされています。今後の継続をお願いします。</p> | | | | |

| 基本目標 | 3 より心豊かで生き生きとした暮らしにつながる学びの場づくりの推進 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|---------|--|----------|--------------|-----------|-----|----|-----|-----------|----------|----------|-----------|-----|-----------|----------|----------|-----------|-------|------|------|----|------|-----|-----------|----------|-----------|----------|-----|-----------|----------|-----------|-----------|-------|--------|--|--------------|--|-----|-----|-------|-----|-------|-----|------|-------|------|-------|----|-------|--------|-----|------|------|-----|------|------|
| 施策項目 | ④ 社会教育施設等の適切な運営による、より良い学習環境の充実 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 方針・目標 | 市民の学習要求に応えるため、必要な資料を広く収集・整理・提供するとともに、生涯学習や生活に役立ち、利用しやすい情報の拠点となるよう努めます。また、読書活動を推進するため、学校や家庭との連携を強化するとともに、各種事業を展開し、利用者拡大に努めます。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 事業・取組名 | 図書館管理運営事業 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 目標値 | 図書館利用者満足度調査の全体的な満足度で、平均4点以上を目指します。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 事務事業の実績 | <p>1 図書館資料の充実 ※統計は全て能代図書館と二ツ井図書館の合計蔵書数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度/項目</th> <th>一般書</th> <th>郷土</th> <th>児童書</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R 2</td> <td>135,028 冊</td> <td>18,774 冊</td> <td>42,253 冊</td> <td>196,055 冊</td> </tr> <tr> <td>R 1</td> <td>132,744 冊</td> <td>18,155 冊</td> <td>41,194 冊</td> <td>192,093 冊</td> </tr> </tbody> </table> <p>2 サービス活動の充実と利用の拡大</p> <p>(1) 貸出冊数、利用者数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度/項目</th> <th>個人貸出</th> <th>団体貸出</th> <th>合計</th> <th>利用者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R 2</td> <td>152,868 冊</td> <td>10,917 冊</td> <td>163,785 冊</td> <td>98,370 人</td> </tr> <tr> <td>R 1</td> <td>162,959 冊</td> <td>10,446 冊</td> <td>173,405 冊</td> <td>127,198 人</td> </tr> </tbody> </table> <p>(2) その他サービス</p> <p>ア レファレンス・サービス (参考調査)、読書案内</p> <p>イ リクエスト (予約) サービス</p> <p>ウ 障がい者サービス (家庭配本)</p> <p>エ 県立図書館等公共図書館との相互協力</p> <p>オ ホームページの整備と管理</p> <p>(3) 市や社会教育施設等との連携</p> <p>ア 「子育て・家庭教育に関する本」のセット貸出 保育所向け・小学校向け・中学校向け (生涯学習・スポーツ振興課)</p> <p>イ 男女共同参画関連図書の展示、貸出 (6月、11月/市民活力推進課)</p> <p>ウ 育児関係本や絵本の配本 (毎月3歳児検診/健康づくり課)</p> <p>エ 読み聞かせおすすめ絵本の紹介の配布 (年3回/健康づくり課)</p> <p>オ 木に関する加工品の展示 (通年/木材高度加工研究所)</p> <p>カ 資料搬送 (予約資料週3回、返却本週2回)</p> <p>(4) 学習機会の提供※¹</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度/項目</th> <th colspan="2">講座等の開催</th> <th colspan="2">人形劇、書評合戦等の開催</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R 2</td> <td>8 回</td> <td>157 人</td> <td>5 回</td> <td>100 人</td> </tr> <tr> <td>R 1</td> <td>15 回</td> <td>316 人</td> <td>11 回</td> <td>303 人</td> </tr> </tbody> </table> <p>(5) 図書館利用者満足度調査結果 (全体的な満足度平均)</p> <p>5段階評価…「満足」5点、「やや満足」4点、「普通」3点、「やや不満」2点、「不満」1点</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>能代図書館</th> <th>二ツ井図書館</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R 2</td> <td>4.31</td> <td>4.28</td> </tr> <tr> <td>R 1</td> <td>4.27</td> <td>4.12</td> </tr> </tbody> </table> | 年度/項目 | 一般書 | 郷土 | 児童書 | 合計 | R 2 | 135,028 冊 | 18,774 冊 | 42,253 冊 | 196,055 冊 | R 1 | 132,744 冊 | 18,155 冊 | 41,194 冊 | 192,093 冊 | 年度/項目 | 個人貸出 | 団体貸出 | 合計 | 利用者数 | R 2 | 152,868 冊 | 10,917 冊 | 163,785 冊 | 98,370 人 | R 1 | 162,959 冊 | 10,446 冊 | 173,405 冊 | 127,198 人 | 年度/項目 | 講座等の開催 | | 人形劇、書評合戦等の開催 | | R 2 | 8 回 | 157 人 | 5 回 | 100 人 | R 1 | 15 回 | 316 人 | 11 回 | 303 人 | 年度 | 能代図書館 | 二ツ井図書館 | R 2 | 4.31 | 4.28 | R 1 | 4.27 | 4.12 |
| 年度/項目 | 一般書 | 郷土 | 児童書 | 合計 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| R 2 | 135,028 冊 | 18,774 冊 | 42,253 冊 | 196,055 冊 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| R 1 | 132,744 冊 | 18,155 冊 | 41,194 冊 | 192,093 冊 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 年度/項目 | 個人貸出 | 団体貸出 | 合計 | 利用者数 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| R 2 | 152,868 冊 | 10,917 冊 | 163,785 冊 | 98,370 人 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| R 1 | 162,959 冊 | 10,446 冊 | 173,405 冊 | 127,198 人 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 年度/項目 | 講座等の開催 | | 人形劇、書評合戦等の開催 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| R 2 | 8 回 | 157 人 | 5 回 | 100 人 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| R 1 | 15 回 | 316 人 | 11 回 | 303 人 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 年度 | 能代図書館 | 二ツ井図書館 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| R 2 | 4.31 | 4.28 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| R 1 | 4.27 | 4.12 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

3 子どもの読書活動の推進

(1) 読み聞かせ活動の充実及び学校との連携・支援*2

ア おはなし会

| 年度 | 回数 | 人数 |
|-----|-----|------|
| R 2 | 22回 | 203人 |
| R 1 | 38回 | 493人 |

- イ 一日図書館員（小学校6年生） 4人
- ウ 図書館を使った調べる学習コンクールの開催 応募 52作品
- エ 学校への図書配本を実施 随時
- オ としょかんスタンプラリーの開催 7/1～7/30

(2) ボランティアとの連携

*1 2 (4) 学習機会の提供、*2 3 (1) 読み聞かせ活動の充実及び学校との連携・支援に記載

点検・評価

| 対象年度 | R 1 | R 2 |
|------|-----|-----|
| 評価 | A | A |

- A 目標を上回る B ほぼ目標どおり
- C 目標をやや下回る D 目標を大幅に下回る

[説明]

- ① 新型コロナの影響を受け、利用者数と貸出冊数は減少した。見直しや規模の縮小、中止等を余儀なくされた事業もあったが、開催した際には感染防止対策に務めて実施した。
- ② 図書館利用者満足度調査では、平均4点以上と高い満足度になっている。
- ③ ボランティアや学校等、様々な団体と連携した取り組みを行った。図書館を使った調べる学習コンクールでは、市内小中学校から52点の応募があり、内2作品が全国大会でそれぞれ優秀賞と奨励賞を受賞した。
- ④ 能代図書館と二ツ井図書館とで密に連絡を取り合い、特別貸出や、返却本・予約資料の搬送等を行うことにより利用者の利便性を向上させた。

課題及び今後の取組の方向性

- 拡充 継続 廃止検討 その他 ()

[具体的な課題及び取組]

- ① 図書資料の充実
市民の学習要求に応えられるよう図書資料の充実を図る。
- ② 利用者の声
毎年実施している図書館利用者満足度調査や、ご意見記載用紙の常備等で、利用者の声を把握し、運営に活かしていく。
- ③ 関係機関との連携
学校や他の公共図書館、図書館ボランティア等との連携を図り、多様な学びの機会の提供やサービスの充実に努める。
- ④ 指定管理者との連携
H27年度から能代図書館に指定管理者制度を導入し、株式会社図書館流通センターが受託している。H31年2月には直営で二ツ井図書館がオープンしており、引き続き能代図書館と二ツ井図書館の2館の連携を深め、施設の円滑な維持管理、運営を図りながら事業を推進していく。

学識経験者の意見

- コロナ禍ではあるが、様々な取り組みが行われ、成果が上がっている。図書館を使った調べる学習コンクールは応募作品も増えており、今後とも学校と連携して充実を図っていただきたい。
- 図書館利用者満足度調査では、平均4点以上と目標値を上回る結果となっています。他の課や研究所と連携を図りながら、展示、貸出、配本を工夫した結果だと考えます。今後より一層、他の課や学校、関係機関との連携を密にして図書館からの発信を充実させてください。

| | |
|--|--|
| | <p>□読み聞かせ活動は、子どもたちが読書に対して興味・関心を高めるためのよい活動だと考えます。また、図書館を使った調べる学習コンクールは、子どもの思考力・判断力・表現力を高めることができるよい事業だと思います。</p> |
|--|--|

| | | | | |
|---------------|--|-----|-----|------------------------|
| 基本目標 | 4 ふるさとの伝統文化の継承と文化芸術の振興 | | | |
| 施策項目 | ① 伝統芸能の継承 | | | |
| 方針・目標 | 学校や地域と連携した伝統芸能の継承活動を推進します。 | | | |
| 事業・取組名 | 民俗芸能振興事業 | | | |
| 目標値 | 能代市民俗芸能連合会の構成団体数を維持します。(18 団体) | | | |
| 事務事業の実績 | <p>1 能代市民俗芸能連合会構成団体数(単位保存会数)</p> <p>H30 18 団体(能代地区7 ニツ井地区11)</p> <p>R 1 18 団体(能代地区7 ニツ井地区11)</p> <p>R 2 18 団体(能代地区7 ニツ井地区11)</p> <p>2 合同発表会 ※新型コロナの影響により能代地区・ニツ井地区ともに中止</p> <p>3 用具整備補助 ※実施要望なし</p> <p>4 後継者育成事業 各保存会で実施</p> <p>5 各学校での取組 ニツ井小学校:仁鮎ささら踊(正課クラブ) 向能代小学校:鳥形獅子踊(総合的な学習の時間) 能代東中学校:檜山舞・鹹渕番楽・鶴形ささら(合同発表会) ※崇徳小学校はH31.3 閉校、竹生小学校はR2.3 閉校</p> <p>6 子ども民俗芸能発表会 ※新型コロナの影響により中止</p> | | | |
| 点検・評価 | 対象年度 | R 1 | R 2 | A 目標を上回る B ほぼ目標どおり |
| | 評価 | B | B | C 目標をやや下回る D 目標を大幅に下回る |
| | <p>[説明]</p> <ul style="list-style-type: none"> 連合会構成団体数は18 団体を維持している。 新型コロナの影響により、合同発表会や子ども民俗芸能発表会を開催することができなかった。 | | | |
| 課題及び今後の取組の方向性 | <input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> その他() | | | |
| | <p>[具体的な課題及び取組]</p> <ul style="list-style-type: none"> 会員数の減少と会員の高齢化は各保存会共通の課題であるが、即効的な対応は困難である。今後も連合会との連携を深めていくとともに、用具整備等、単位保存会への支援を継続していく。 新型コロナでは、会員や地域における関係人員の高齢化が如実に影響した。アフターコロナを見据え、若い世代の関係人口を増やす意味でも、今後はリモート指導やデジタルアーカイブ等の取組を支援していきたい。 小規模小学校の閉校に伴い、学校教育の一環として行われてきた民俗芸能の体験学習の機会減少が懸念されたが、保存会の尽力と学校側の深い理解により、統合先である向能代小学校で鳥形獅子舞の活動が継承されることになった。 | | | |
| 学識経験者の意見 | ○竹生小学校の閉校に伴い、鳥形獅子踊りが向能代小学校に継承されることは極めて有意義なことであり、今後も、民俗芸能の体験学習の機会が失われることにならないように、また、伝承者の死去で伝承が途絶えることがないように取り組んでいただきたい。 | | | |

| | |
|--|---|
| | <p><input type="checkbox"/>学校の統合により民俗芸能の継承に不安を抱いていましたが、教育委員会の指導のもと、ふるさと学習等で各地区の民俗芸能を取り上げて学習を進めていることに感謝しています。これからも市、保存会、学校が連携して、ふるさとの伝統文化を守っていく後継者の育成に努めてほしいと思います。</p> <p><input type="checkbox"/>子どもたちが身に付けた民俗芸能を披露する場を設けてほしいと思います。今後、リモートやデジタルアーカイブ等のIT活用も考えていくことになると思います。</p> |
|--|---|

| | |
|---------|---|
| 基本目標 | 4 ふるさとの伝統文化の継承と文化芸術の振興 |
| 施策項目 | ② 文化財保護事業の推進 |
| 方針・目標 | 歴史資料の保存、活用に努めるとともに、国指定史跡檜山安東氏城館跡環境整備計画に基づいた取り組みを推進します。 |
| 事業・取組名 | 文化財保護事業 |
| 目標値 | 1 指定・登録文化財の保護に努め、き損、散逸しないよう所有者へはたらきかけます。 2 市民の文化財保護意識の高揚を図るため、関係団体と連携して歴史探訪会を開催し、参加者満足度 80%以上を目指します。 |
| 事務事業の実績 | 1 指定・登録文化財数 H30 99 件 R 1 101 件 (2 件指定) R 2 101 件 ※ 紛失 2 件 (R03.01) → 今後、指定解除を審議 書跡「荷田春満筆 和歌短冊 野外残雪」(1 軸) 書跡「本居太平筆 長短歌賛 柿本人麿座像」(1 軸) 2 指定文化財の修復 案件なし 3 案内板等の修繕・設置 ・道路案内看板「国指定史跡 杉沢台遺跡」(須田、磐 2 ヲ所) ・案内板「日和山五輪塔」(字後谷地) ・標柱「檜山安東氏城館跡 茶臼館跡」(檜山) ・標柱「山居庵・十王堂跡のイチョウ」(檜山) 4 関係団体の活動支援 ①秋田県文化財保護協会能代支部 ※新型コロナにより中止 ②二ツ井町文化財保護協会 ・視察研修会 兼 歴史探訪会 (※共催) 「二ツ井町内の歌碑・句碑めぐり」 日 時：10/26 (月) 8:30~17:00 訪問地：富根山本家山林地内、七座神社、きみまち阪ほか 参加者：11 名 【満足度 平均 4.77 95.4%】 5 個人所蔵資料の所在調査 ※新型コロナにより休止 6 市所蔵資料の整理保管 ・東山家寄贈春慶塗の目録整備・保管処置 7 その他 ・文化財等受入に係る制度整備 能代市文化財等収集方針 能代市文化財等寄贈寄託受入要綱 |

| | | | | | |
|---------------|--|-----|-----|------------|-------------|
| 点検・評価 | 対象年度 | R 1 | R 2 | A 目標を上回る | B ほぼ目標どおり |
| | 評価 | B | B | C 目標をやや下回る | D 目標を大幅に下回る |
| | <ul style="list-style-type: none"> ・毎年度「文化財防火デー」にあわせ指定文化財の所有者及び管理責任者に文書にて連絡をとっているが、3年間連絡していなかった案件に改めて連絡をしたところ、紛失が発生していた。今後は文化財保護審議会において指定解除の可否を審議する。 ・歴史探訪会は、新型コロナの影響で中止あるいは規模縮小で対応せざるを得なかった。2年度は二ツ井町文化財保護協会と共催で実施したが、満足度は目標値に達している。 ・新型コロナの影響により個人所蔵の文化財等所在調査は遠慮したが、市所蔵資料（東山家寄贈春慶塗）の目録化及び整理、文化財等受入に係る制度の整備をおこなった。 | | | | |
| 課題及び今後の取組の方向性 | <input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> その他（ ） | | | | |
| | <p>[具体的な課題及び取組]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・個人所有の文化財に関しては、これまで原則として所有者が管理し、市はそれを支援してきたが、所有者の高齢化・死亡・代替わりに伴い、市外への流出、散逸が懸念されている。今回の指定文化財の紛失も、所有者の高齢化と代替わりに加え、市としての受入態勢、すなわち適切に保管できる施設がないことが遠因になっている。文化財等を市民共有の財産として次世代へ継承するため、保管施設を早急に整備する必要がある。 ・定期的な所在調査（追跡調査）及び情報収集に努めるとともに、市外所有者には市への寄託を依頼する。 ・歴史探訪会についても引き続き参加者の満足できるテーマを設定し、市民の文化財保護意識の高揚を図っていく。 | | | | |
| 学識経験者の意見 | <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> コロナ禍の影響は致し方ないところであり、引き続き文化財の保護・活用に取り組むとともに、市民への広報に努めていただきたい。 <input type="checkbox"/> 新型コロナの影響の中、二ツ井町文化財保護協会と共催で視察研修会・歴史探訪会を実施し、満足度 95.4%を得たことは成果としてあげられます。 <input type="checkbox"/> 新型コロナにより休止となった個人所蔵資料の所在調査、関係団体の活動支援については、今後計画性をもって実施してほしいと思います。 | | | | |

| | |
|---------|---|
| 基本目標 | 4 ふるさとの伝統文化の継承と文化芸術の振興 |
| 施策項目 | ② 文化財保護事業の推進 |
| 方針・目標 | 歴史資料の保存、活用に努めるとともに、国指定史跡檜山安東氏城館跡環境整備計画に基づいた取り組みを推進します。 |
| 事業・取組名 | 檜山安東氏城館跡保存管理事業 |
| 目標値 | 1 檜山城跡の整備の指針となる環境整備計画に基づき、整備・発掘調査を実施します。 2 史跡の管理のための除草を延べ25ha、伐木140立米を実施します。 3 歴史ガイド利用者数 1,500人以上 |
| 事務事業の実績 | 1 檜山城跡の発掘調査 調査整備委員会：①現地指導 8/26（水） ②委員会 11/10（火） ※踏査は新型コロナウイルスの影響により中止 調査箇所：本丸・二の丸 調査期間：5/13～10/9 調査面積：約140㎡ 檜山城跡発掘調査見学会：8/23（日） 参加者 58名 報告書：国史跡檜山安東氏城館跡 檜山城跡Ⅴ —令和2年度5次発掘調査報告書— 2 史跡の除草 延べ31ha 檜山城跡：遺構箇所 12ha×2回、遊歩道2回 大館跡：遺構箇所 7ha×1回 3 檜山城跡の整備 景観伐木：伐採110本、運搬67t 除伐：1ha 案内板等の設置：案内サイン4基 据置き案内看板2基 4 民間業者による史跡檜山安東氏城館跡のき損 R2年度対応：公有化の準備作業 現地調査2回 関係者からの聞き取り1回 登記状況の確認等 5 のしろ檜山周辺歴史ガイドの会 ①利用者数実績 H30 1,321人 / R1 1,627人 / R2 498人 ②研修会支援 ○研修会 楞巖院内寺と母体八幡神社内裏の見学会 日時：11/29（日） 参加者：22名 6 能代市文化財ガイドマップ『歴史探訪 檜山』 2,000部印刷 7 教育普及活動 中央公民館市民学校「ハナタカ！能代の歴史講座」 8/21（金）、28（金）、9/4（金） 参加者 のべ70名 能代東中学校1年生発掘体験 9/8（火） 参加者 32名 |

| | | | | | |
|---------------|--|-----|-----|------------|-------------|
| 点検・評価 | 対象年度 | R 1 | R 2 | A 目標を上回る | B ほぼ目標どおり |
| | 評価 | B | B | C 目標をやや下回る | D 目標を大幅に下回る |
| | <p>[説明]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・史跡檜山安東氏城館跡環境整備計画に基づき、景観伐採及び檜山城跡の発掘調査を計画どおり実施できた。案内板は、昨年度見送り分も含め、4基設置できた。 ・のしろ檜山周辺歴史ガイドの会の利用者数に関して、新型コロナの影響等により、集団での史跡見学者、特に市外・県外からの団体客が大幅に減少して目標を達成することはできなかったが、中央公民館講座に協力するなど、市民の教育普及活動に注力した。 ・き損対応のための公有地化については、当該地の境界について疑義があり、その解決のため復旧計画を変更して対応する必要が生じている。 | | | | |
| 課題及び今後の取組の方向性 | <input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> その他 () | | | | |
| | <p>[具体的な課題及び取組]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・整備及び発掘調査体制の充実に努める。 ・調査整備委員会の開催及び指導を随時実施する。 ・史跡への関心を高めるための情報発信のあり方の検討。様々な手法によるタイムリーな情報提供に努める。 ・き損への対応として、公有地化の上で史跡の本格復旧を図る必要がある。 | | | | |
| 学識経験者の意見 | <input type="checkbox"/> コロナ禍の影響は致し方ないところであり、引き続き整備・発掘、管理、教育普及等に取り組んでいただきたい。 <input type="checkbox"/> 史跡の除草、景観伐木、案内板の設置を計画的に実施し、檜山城跡の整備を確実に進めています。 <input type="checkbox"/> のしろ檜山周辺歴史ガイドの活動を推進し、見学会の参加者を多く募りたいと考えます。檜山城跡の見学にとどまらず、寺院、崇徳館、北限の茶畑等も含めた総合的な見学コースを検討してもよいと思います。 | | | | |

| | | | | |
|---------------|---|-----|-----|------------------------|
| 基本目標 | 4 ふるさとの伝統文化の継承と文化芸術の振興 | | | |
| 施策項目 | ② 文化財保護事業の推進 | | | |
| 方針・目標 | 歴史資料の保存、活用に努めるとともに、国指定史跡檜山安東氏城館跡環境整備計画に基づいた取り組みを推進します。 | | | |
| 事業・取組名 | 埋蔵文化財調査事業 | | | |
| 目標値 | 開発行為に関わる調査依頼に応じ、確認調査・発掘調査を実施します。 | | | |
| 事務事業の実績 | 1 本発掘調査：依頼件数1件、実施件数1件 サシトリ台遺跡 2 試掘（確認）調査：依頼件数2件、実施件数2件 茱萸ノ木遺跡、赤ハゲⅠ遺跡 3 試掘（分布）調査：依頼件数6件、実施件数6件 中大野Ⅱ遺跡、朴瀬・荷八田地内（2件）、赤ハゲⅠ遺跡、比八田地内、 鯺淵地内 4 立会調査：11件 下大野Ⅰ遺跡、竹生Ⅱ遺跡（2件）、茱萸ノ木遺跡、柏子所遺跡、成合Ⅴ 遺跡、梯ノ台遺跡（2件）、俣后阪遺跡、塞ノ神遺跡、前谷地遺跡近接 | | | |
| 点検・評価 | 対象年度 | R 1 | R 2 | A 目標を上回る B ほぼ目標どおり |
| | 評価 | B | B | C 目標をやや下回る D 目標を大幅に下回る |
| | [説明] ・文化財保護法に則り、埋蔵文化財保護事務を遂行できた。 | | | |
| 課題及び今後の取組の方向性 | <input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> その他（ ） [具体的な課題及び取組] ・文化財保護法に則り、埋蔵文化財保護事務を進める。 | | | |
| 学識経験者の意見 | ○引き続き文化財の保存・活用に努めていただきたい。 □本発掘調査、試掘、立会調査が計画的に進められています。今後も年次計画に従って実施してください。 | | | |

| | | | |
|---|---|-------------------|-------------------------------------|
| 基本目標 | 4 ふるさとの伝統文化の継承と文化芸術の振興 | | |
| 施策項目 | ③ 文化芸術の振興 | | |
| 方針・目標 | 文化芸術団体等への支援に努め、芸術鑑賞の機会や活動の場を提供します。 | | |
| 事業・取組名 | 市民文化振興事業 | | |
| 目標値 | 文化月間の入場者数を、過去3年間の平均値との比較で、平均値以上を目指します。 | | |
| 事務事業の実績 | 1 文化月間の設定 | | |
| | 年度 | 区 分 | |
| | | 展示部門 | 舞台部門 |
| | R 2 10/9～11/15 | 8団体 入場者数 7,062人 | 24団体 入場者数 932人 (県芸文フェスティバルと同時開催) |
| | R 1 | 9団体 入場者数 8,118人 | 17団体 入場者数 619人 |
| | H30 | 8団体 入場者数 9,025人 | 15団体 入場者数 710人 |
| | H29 | 9団体 入場者数 8,571人 | 18団体 入場者数 806人 |
| | H29～R1平均 | 9団体 入場者数 8,571人 | 17団体 入場者数 712人 |
| | 3年平均との比較 | △1団体 入場者数△1,509人 | +7団体 入場者数+220人 |
| | ※R2 舞台部門は市内の参加は16団体で例年並み。(県芸文フェスティバルと同時開催のため、市外からの参加団体を含み、例年より団体数及び入場者数が多くなった)。 | | |
| 2 市民文化振興(文化芸術団体等への支援等) | | | |
| <ul style="list-style-type: none"> ・芸術文化活動事業費補助金(ミュージカル、オペラ等公演費の補助) <ul style="list-style-type: none"> (1) 能代ミュージカル 予算 1,330千円 → 中止 (2) 能代市民ミュージカル 予算 650千円 → 中止 (3) 能代オペラ音楽祭 予算 300千円 → 中止 ・能代ミュージカルキッズ支援(練習会場使用料等の補助) ・伝統文化親子教室事業(文化庁/採択5事業) ・芸術文化による子供育成総合事業(文化庁/5小中学校で実施) ・その他(後援、文化会館助成等) | | | |
| 3 市所蔵絵画展の開催 | | | |
| 年度 | 期日 | 展示テーマ/会場 | 来場者数 |
| R 2 | 11/7～11 | 大原省三/文化会館中ホール | 879人 |
| R 1 | 10/29～11/3 | (なし)/二ツ井町庁舎大会議室 | 161人 |
| H30 | 11/2～6 | (なし)/本庁舎大会議室 | 420人 |
| H29 | 10/25～30 | (なし)/二ツ井町庁舎交流スペース | 166人 |
| H28 | 12/3～11 | 天空に咲く花/本庁舎大会議室 | 2,197人 |
| ※H29 二ツ井庁舎市民ホール使用のため、全日の立会い/カウントなし チラシ配布76枚、芳名帳42人、土日来場(立会い)48人 | | | |

| | | | | | |
|---------------------------------|--|-----|-----|------------|-------------|
| 点 検 ・ 評 価 | 対象年度 | R 1 | R 2 | A 目標を上回る | B ほぼ目標どおり |
| | 評価 | B | — | C 目標をやや下回る | D 目標を大幅に下回る |
| | <p>[説明]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナにより文化月間への参加を自粛する団体があるなど、市民の参加は全体的には減少した。一方で文化会館開館 40 周年及び能代市芸術文化協会創立 70 周年に伴い、「秋田県芸術文化フェスティバル 2020」が能代市で開催され、市外からの参加者もあったことから、文化月間舞台部門の参加団体及び来場者数の増につながった。市主催所蔵絵画展「大原省三生誕 100 周年記念絵画展」は、久々の企画展であり、絵画のほか作者の資料も展示したことにより、例年の絵画展より来場者が多く好評であった。 ※ 新型コロナの影響により、入場者数の減少が大きく、目標値としている過去 3 年間の平均値との比較は困難であることから、評価を見送った。 | | | | |
| 課 題 及 び 今 後 の 取 組 の 方 向 性 | <input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> その他 () | | | | |
| | <p>[具体的な課題及び取組]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・文化月間の在り方を検討する。(文化月間は、市が主唱し、能代市芸術文化協会が主催する約 1 ヶ月間の会員の展示発表会であり、市で文化会館の会場使用料の一部を補助している。芸術文化協会の加盟団体及び会員数も減少傾向にあり、前月には公民館祭もあるため、文化月間を類似の催事を包括する期間に再設定するなど、市民の多くが関わることで文化芸術を PR できる行事としていく必要がある。) ・能代市芸術文化協会と連携し、市民文化月間への参加団体の維持・拡大を図る。 ・市ホームページや県生涯学習総合案内サイトを中心に情報提供を行う。 ・市所蔵絵画展は、今後絵画に限らず、文化財や檜山展などを含め、市民の文化への関心を喚起する工夫をし、郷土愛やふるさとを学ぶ機会の提供につながるように取り組んでいく。 ・各種助成事業等については、引き続き様々な団体が利活用できるよう、わかりやすい周知に努める。 | | | | |
| 学 識 経 験 者 の 意 見 | <input type="checkbox"/> コロナ禍では入場者数の減少、事業の中止等は致し方ないところであり、コロナ禍及び新しい生活様式の中での事業の在り方について検討していただきたい。 <input type="checkbox"/> 新型コロナの影響の中、舞台部門で団体・入場者数共に過去 3 年間の平均値を上回ったことは、主催者の努力の賜と捉えています。 | | | | |

| | | | | |
|---------------------------------|--|-------------------------------|---------------------------|----------------|
| 基本目標 | 4 ふるさとの伝統文化の継承と文化芸術の振興 | | | |
| 施策項目 | ③ 文化芸術の振興 | | | |
| 方針・目標 | 文化芸術団体等への支援に努め、芸術鑑賞の機会や活動の場を提供します。 | | | |
| 事業・取組名 | 文化会館主催事業 | | | |
| 目標値 | 事業数及び入場者数で、過去3年間の平均値との比較で、平均値以上を目指します。 | | | |
| 事務事業の実績 | 1 主催事業 | | | |
| | No. | 開催日 | 事業名 | 内容 入場者 |
| | 1 | 5/10 | 松竹大歌舞伎 | 歌舞伎 中止 |
| | 2 | 6/20 | Little Glee Monster コンサート | 歌謡 延期 |
| | 3 | 7/19 | 宝くじ文化公演クラシックコンサート | クラシック/子供 延期 |
| | 4 | 9/6 | 第16回みんなで歌うコンサート | 市民参加型 中止 |
| | 5 | 10/31 | イルカコンサート | 歌謡 中止 |
| | 6 | 12/6 | 第16回クリスマスこどもコンサート | 市民参加型 514人 |
| | 7 | 2/11 | 天童よしみコンサート | 歌謡 910人 |
| | 8 | 3/7 | 第21回のしろクラシックコンサート | 市民参加型 323人 |
| | 9 | 3/15 | DRUM TAO コンサート | 中止 |
| | R2 年度合計 | | | 3回 1,747人 |
| | H29～R1 年度平均 | | | 9回 5,918人 |
| | 3カ年平均との比較 | | | △6回 △4,171人 |
| | 2 ロビーコンサート（市民に無料で参加発表できる場を提供） | | | |
| | No. | 開催日 | 内容 | 入場者 |
| | 1 | 2/14 | 能代工業高校吹奏楽部ファイナルコンサート | 92人 |
| | 2 | 2/18 | ミニヨンコンサート渡邊真弓と仲間たち | 80人 |
| | 3 | 3/24 | 能代一中吹奏楽部コンサート | 80人 |
| | R2 年度合計 | | | 3回 252人 |
| H29～R1 年度平均 | | | 8回 973人 | |
| 3カ年平均との比較 | | | △5回 △721人 | |
| 3 市民芸術文化祭（能代市芸術文化協会主催）※P57の表を参照 | | | | |
| 4 文化会館主催事業と学校（芸術鑑賞教室等）との連携 | | | | |
| 年度 | 開催日 | 事業名 | 対象 | 入場者 |
| R2 | 実績なし | | | |
| R1 | 8/28 ほか | リージョナルシアター演劇普及事業 | 小/高校生 | 68人 |
| | 9/25 ほか | 公共ホール音楽活性化 アウトリーチフォーラム事業 | 小学生 | 238人 |
| H30 | 実績なし | | | |
| H29 | 9/21, 22 | 人形劇パペットファンタジー 「ムーミン谷の夏まつり」 | 全小学校 児童 | 2,391人 |

| | | | | | |
|---------------|---|-----|-----|------------|-------------|
| 点検・評価 | 対象年度 | R 1 | R 2 | A 目標を上回る | B ほぼ目標どおり |
| | 評価 | B | — | C 目標をやや下回る | D 目標を大幅に下回る |
| | <p>[説明]</p> <p>文化会館の主催事業では、文化会館開館 40 周年であることから、例年以上の大型企画を計画したが、新型コロナや緊急事態措置の影響等で、大型公演が中心の鑑賞型事業は 7 事業中 6 事業が中止または延期となったこと、開催できた公演も流行状況を踏まえ客席数を半数とするなどの対応をしたことが、全体の入場者の減少に大きく影響した。</p> <p>※ 新型コロナの影響により、事業数及び入場者数の減少が大きく、目標値としている過去 3 年間の平均値との比較は困難であることから、評価を見送った。</p> | | | | |
| 課題及び今後の取組の方向性 | <input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> その他 () | | | | |
| | <p>[具体的な課題及び取組]</p> <p>市民ニーズを反映した事業を展開するため、チケットの販売状況の分析や入場者や市民等に対するアンケートを継続して実施する。また、文化会館内に設置する意見箱への意見はほぼないことから、市民や利用者の声の募集の方法（インターネット等）についても検討していく。</p> | | | | |
| 学識経験者の意見 | <input type="checkbox"/> コロナ禍では入場者数の減少、事業の中止等は致し方ないところであり、コロナ禍及び新しい生活様式の中での事業の在り方について検討していただきたい。 <input type="checkbox"/> 新型コロナの影響により、中止や延期、客数半数とした事業がほとんどでしたが、今後、事業の実施に向けて計画を見直し、準備を進めてほしいと思います。 <input type="checkbox"/> 市民や利用者の声の募集方法を工夫することが事業を計画する上で大切なことだと思います。 | | | | |

| | |
|---------|--|
| 基本目標 | 5 スポーツで輝く夢のあるまちづくりの推進 |
| 施策項目 | ① 学校と地域における子どものスポーツ機会の充実 |
| 方針・目標 | 心身ともに健康な大人となる基礎をつくるため、学校体育と地域のスポーツ活動を支援し、体力の向上に努めるとともに、競技力向上を図ります。 |
| 事業・取組名 | 1 子どもの体力向上の推進 2 小・中学校の体育等に関する活動の充実 |
| 目標値 | 新体力テストの体力合計点で、すべての学年において、県平均以上を目指します。 |
| 事務事業の実績 | <p>1 子どもの体力向上の推進 関係団体と連携し、各種事業を通して運動の習慣化等に取り組んだ。</p> <p>○主な事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・能代市 <ul style="list-style-type: none"> チャレンジデー（新型コロナの影響により中止） きみまち二ツ井マラソン（新型コロナの影響により中止） NOSHIROバスケットボールフェスタ（1回） ・指定管理者 <ul style="list-style-type: none"> マリンスポーツ教室（7回）※カヌー&ヨット体験他 スポレクフェスタのしろ、ふたつ（新型コロナの影響により中止） ファミリーいきいき水泳塾（4回） ファミリーいきいき体操塾（4回） ファミリーいきいき陸上塾（4回） ファミリーいきいきスポーツ塾（4回） ・市体育協会 <ul style="list-style-type: none"> ブラウブリッツ秋田サッカークリニックin能代（1回） ・総合型地域スポーツクラブ <ul style="list-style-type: none"> ファミリースポーツ教室（43回）※ミニテニス、卓球、各種レク他 多種目スポーツ教室（45回）※ニュースポーツ他 バスケットボール教室（23回） ・市スポーツ少年団 <ul style="list-style-type: none"> スポレクフェスタのしろ兼能代市スポーツ少年団交流大会（新型コロナの影響により中止） 体力テスト（新型コロナの影響を鑑み、各団の活動の中で測定（3種目）を行い、学校等で実施した記録（4種目）と合わせて、市本部へ記録を提出したものを評価する形で実施） <p>2 小・中学校の体育等に関する活動の充実</p> <p>①体育・保健体育学習の充実に取り組んでいる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新体力テスト結果分析を以降の学習指導に生かしている。 ・研修会へ参加し、体育・保健体育学習の充実を図っている。 ・休み時間等を活用した運動を実施している。 ・県の指導者派遣事業等を活用し、専門的な知識や技能を学んでいる。 <p>②中学校部活動の活性化を図るため、合同チームなどにより生徒のニーズに応じた運動部活動を推進している。</p> <p>③児童生徒の運動機会の拡充を図っている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・県の徒歩通学に関する調査結果を情報提供している。 ・学校訪問等で、体力の維持、向上を図るための指導や助言をしている。 |

| 点検・評価 | 対象年度 | R 1 | R 2 | A 目標を上回る | B ほぼ目標どおり | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|---|--|-------|-------|------------|-------------|-------|-------|-------|-------|-------|----|----|----|----|----|----|---|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|---|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-----|---|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-----|--|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-----|--|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|---|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|---|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-----|---|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-----|--|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-----|--|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| | 評価 | B | — | C 目標をやや下回る | D 目標を大幅に下回る | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| <p>1～2 共通</p> <p>R 2新体力テストが、新型コロナの影響により中止となったため、目標値としている体力合計点での比較ができないことから評価を見送った。</p> <p>[参考]</p> <p>○令和元年度新体力テスト体力合計点</p> <p>◇男子</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>小1</th> <th>小2</th> <th>小3</th> <th>小4</th> <th>小5</th> <th>小6</th> <th>中1</th> <th>中2</th> <th>中3</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">R1</td> <td>県</td> <td>31.78</td> <td>32.57</td> <td>45.01</td> <td>50.74</td> <td>56.90</td> <td>62.48</td> <td>35.69</td> <td>44.78</td> <td>51.07</td> </tr> <tr> <td>市</td> <td>34.03</td> <td>41.07</td> <td>46.54</td> <td>51.24</td> <td>57.91</td> <td>65.18</td> <td>37.31</td> <td>45.40</td> <td>54.17</td> </tr> <tr> <td>H30</td> <td>市</td> <td>34.25</td> <td>40.20</td> <td>45.97</td> <td>53.20</td> <td>59.08</td> <td>63.84</td> <td>38.51</td> <td>49.34</td> <td>52.89</td> </tr> <tr> <td>市比較</td> <td></td> <td>-0.22</td> <td>+0.87</td> <td>+0.57</td> <td>-1.96</td> <td>-1.17</td> <td>+1.34</td> <td>-1.20</td> <td>-3.94</td> <td>+1.28</td> </tr> <tr> <td>県比較</td> <td></td> <td>+2.25</td> <td>+8.50</td> <td>+1.53</td> <td>+0.50</td> <td>+1.01</td> <td>+2.70</td> <td>+1.62</td> <td>+0.62</td> <td>+3.10</td> </tr> </tbody> </table> <p>◇女子</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>小1</th> <th>小2</th> <th>小3</th> <th>小4</th> <th>小5</th> <th>小6</th> <th>中1</th> <th>中2</th> <th>中3</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">R1</td> <td>県</td> <td>32.57</td> <td>40.52</td> <td>47.15</td> <td>53.48</td> <td>59.65</td> <td>63.93</td> <td>47.46</td> <td>52.41</td> <td>53.90</td> </tr> <tr> <td>市</td> <td>34.47</td> <td>43.41</td> <td>50.15</td> <td>56.02</td> <td>62.09</td> <td>65.35</td> <td>50.09</td> <td>57.50</td> <td>57.66</td> </tr> <tr> <td>H30</td> <td>市</td> <td>34.24</td> <td>42.26</td> <td>50.49</td> <td>56.86</td> <td>60.56</td> <td>66.12</td> <td>50.78</td> <td>56.40</td> <td>58.14</td> </tr> <tr> <td>市比較</td> <td></td> <td>+0.23</td> <td>+1.15</td> <td>-0.34</td> <td>-0.84</td> <td>+1.53</td> <td>-0.77</td> <td>-0.69</td> <td>+1.10</td> <td>-0.48</td> </tr> <tr> <td>県比較</td> <td></td> <td>+1.90</td> <td>+2.89</td> <td>+3.00</td> <td>+2.54</td> <td>+2.44</td> <td>+1.42</td> <td>+2.63</td> <td>+5.09</td> <td>+3.76</td> </tr> </tbody> </table> | | | | | | 年度 | 小1 | 小2 | 小3 | 小4 | 小5 | 小6 | 中1 | 中2 | 中3 | R1 | 県 | 31.78 | 32.57 | 45.01 | 50.74 | 56.90 | 62.48 | 35.69 | 44.78 | 51.07 | 市 | 34.03 | 41.07 | 46.54 | 51.24 | 57.91 | 65.18 | 37.31 | 45.40 | 54.17 | H30 | 市 | 34.25 | 40.20 | 45.97 | 53.20 | 59.08 | 63.84 | 38.51 | 49.34 | 52.89 | 市比較 | | -0.22 | +0.87 | +0.57 | -1.96 | -1.17 | +1.34 | -1.20 | -3.94 | +1.28 | 県比較 | | +2.25 | +8.50 | +1.53 | +0.50 | +1.01 | +2.70 | +1.62 | +0.62 | +3.10 | 年度 | 小1 | 小2 | 小3 | 小4 | 小5 | 小6 | 中1 | 中2 | 中3 | R1 | 県 | 32.57 | 40.52 | 47.15 | 53.48 | 59.65 | 63.93 | 47.46 | 52.41 | 53.90 | 市 | 34.47 | 43.41 | 50.15 | 56.02 | 62.09 | 65.35 | 50.09 | 57.50 | 57.66 | H30 | 市 | 34.24 | 42.26 | 50.49 | 56.86 | 60.56 | 66.12 | 50.78 | 56.40 | 58.14 | 市比較 | | +0.23 | +1.15 | -0.34 | -0.84 | +1.53 | -0.77 | -0.69 | +1.10 | -0.48 | 県比較 | | +1.90 | +2.89 | +3.00 | +2.54 | +2.44 | +1.42 | +2.63 | +5.09 | +3.76 |
| 年度 | 小1 | 小2 | 小3 | 小4 | 小5 | 小6 | 中1 | 中2 | 中3 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| R1 | 県 | 31.78 | 32.57 | 45.01 | 50.74 | 56.90 | 62.48 | 35.69 | 44.78 | 51.07 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 市 | 34.03 | 41.07 | 46.54 | 51.24 | 57.91 | 65.18 | 37.31 | 45.40 | 54.17 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| H30 | 市 | 34.25 | 40.20 | 45.97 | 53.20 | 59.08 | 63.84 | 38.51 | 49.34 | 52.89 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 市比較 | | -0.22 | +0.87 | +0.57 | -1.96 | -1.17 | +1.34 | -1.20 | -3.94 | +1.28 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 県比較 | | +2.25 | +8.50 | +1.53 | +0.50 | +1.01 | +2.70 | +1.62 | +0.62 | +3.10 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 年度 | 小1 | 小2 | 小3 | 小4 | 小5 | 小6 | 中1 | 中2 | 中3 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| R1 | 県 | 32.57 | 40.52 | 47.15 | 53.48 | 59.65 | 63.93 | 47.46 | 52.41 | 53.90 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 市 | 34.47 | 43.41 | 50.15 | 56.02 | 62.09 | 65.35 | 50.09 | 57.50 | 57.66 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| H30 | 市 | 34.24 | 42.26 | 50.49 | 56.86 | 60.56 | 66.12 | 50.78 | 56.40 | 58.14 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 市比較 | | +0.23 | +1.15 | -0.34 | -0.84 | +1.53 | -0.77 | -0.69 | +1.10 | -0.48 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 県比較 | | +1.90 | +2.89 | +3.00 | +2.54 | +2.44 | +1.42 | +2.63 | +5.09 | +3.76 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 課題及び今後の取組の方向性 | <input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> その他 () | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | <p>[具体的な課題及び取組]</p> <p>1 子どもの体力向上の推進 幼児から児童生徒まで運動の習慣化に繋げていくため、関係団体と連携しながら引き続き効果的な事業展開を図る。</p> <p>2 小・中学校の体育等に関する活動の充実 児童生徒に運動習慣や健康的な生活習慣を身に付けさせるため、引き続き各事業の推進を図る。</p> | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 学識経験者の意見 | <p>○コロナ禍では新体力テストの中止や大会の中止は致し方ないところであるが、体力向上に向けた取り組みが可能な範囲で取り組まれており、引き続きコロナ禍及び新しい生活様式の中での事業の在り方について検討していただきたい。</p> <p><input type="checkbox"/>子どもの体力を向上させるための課題を明確にし、解明するための手立てを市と幼・保・小・中学校とで十分話し合っ事業の開発に取り組んでほしいと思います。</p> <p><input type="checkbox"/>中学校の部活動については、生徒数の減少によりチームが組めない状況、合同チームの在り方、教員の働き方改革等を踏まえた上で、今後どのように活性化させていくのかを考える時期にきていると思います。</p> | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

| | | | | |
|---|---|-----|-----|-----------------------------|
| 基本目標 | 5 スポーツで輝く夢のあるまちづくりの推進 | | | |
| 施策項目 | ② ライフステージに応じたスポーツ活動の推進 | | | |
| 方針・目標 | 体力や年齢等に応じて、日常的にスポーツを楽しみながら、体力づくり、健康づくりに取り組むことができる環境を整えます。 | | | |
| 事業・取組名 | 1 青・壮年期におけるスポーツ参加機会の拡充 2 高齢者がはつらつと運動・スポーツに参加できる環境の整備 3 健康づくり運動の推進 | | | |
| 目標値 | 市民が、体力や年齢等に応じて、安全にスポーツに親しむことができるように、スポーツへの参加を促進する機会や環境の整備を推進します。 | | | |
| 事務事業の実績 | 1 青・壮年期におけるスポーツ参加機会の拡充 関係団体と連携し子育て世代等の運動機会の確保に取り組んだ。 ○主な事業 ・指定管理者 初めてのマシントレーニング教室（能代6回、二ツ井6回） 初めての山登り教室（4回） ステップエクササイズ（8回） ・市体育協会 初めてのバレトン教室（8回）※ボディメイクエクササイズ ・総合型地域スポーツクラブ 各種講座 ※太極拳、ヨガ、フィットネス他 多種目スポーツ教室（45回）※ニュースポーツ他 エアロ&ステップエクササイズ（44回） 2 高齢者がはつらつと運動・スポーツに参加できる環境の整備 関係団体と連携し福祉と連動した健康づくり事業を展開している。 ・指定管理者 シルバースポーツの日（20回）※バレー、ミニテニス他 ・市体育協会 二ツ井シルバースポーツの日（22回）※バレー、ミニテニス他 ・総合型地域スポーツクラブ 各種講座 ※ラージ卓球、軽運動、健康増進運動他 3 健康づくり運動の推進 ①チャレンジデーの開催を検討したが、新型コロナにより中止とした。 ②のしろ歩け歩け大会の開催を検討したが、新型コロナにより中止とした。 | | | |
| 点検・評価 | 対象年度 | R 1 | R 2 | A 目標を上回る B ほぼ目標どおり |
| | 評価 | B | B | C 目標をやや下回る D 目標を大幅に下回る |
| [説明] ・成人の週1回以上のスポーツ実施率（市民意識調査） 2年度 51.8%（元年度 51.7%） 目標値の60%にはまだ届かないものの前年度より、0.1ポイントの増となった。 | | | | |

| | |
|----------------------|--|
| <p>課題及び今後の取組の方向性</p> | <p><input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> その他 ()</p> <p>[具体的な課題及び取組]</p> <p>1 青・壮年期におけるスポーツ参加機会の拡充 継続事業は、各種教室や研修会等それぞれの団体において実施できている。成人の週1回以上のスポーツ実施率が上がったことから、引き続きニーズに対応したプログラムの提供や情報提供の工夫、利用しやすいスポーツ施設の運営等、各団体との連携を図っていく。</p> <p>2 高齢者がはつらつと運動・スポーツに参加できる環境の整備 関係団体等と連携し、引き続き各種事業の推進及び支援を図っていく。 グラウンドゴルフ場整備 R4.10供用開始予定</p> <p>3 健康づくり運動の推進 チャレンジデーは、スポーツや健康づくり、地域の絆づくりに効果的である。参加率も回数を重ねる毎に増加してきていることから、さらに各団体や地域と連携を深め、引き続き参加率の向上とスポーツの習慣化を図っていく。</p> |
| <p>学識経験者の意見</p> | <p>○コロナ禍ではチャレンジデーや大会の中止は致し方ないところである。この中でも市民のスポーツ実施率は若干の上昇が見られており、成果が表れている。</p> <p><input type="checkbox"/> 成人週1回以上のスポーツ実施率を、目標値60%以上になるよう手立てを講じてほしいと思います。</p> <p><input type="checkbox"/> 高齢者がはつらつと運動・スポーツに参加できる環境の整備としてグラウンドゴルフ場を整備し、参加者を多く募っている点が評価できます。今後、事業の開発を目指すとともに、ウォーキング、ジョギングが簡単に行えるようなコースの設定・整備を考えていただきたいと思います。</p> |

| | | | | |
|---------|---|-----|-----|-----------------------------|
| 基本目標 | 5 スポーツで輝く夢のあるまちづくりの推進 | | | |
| 施策項目 | ③ スポーツを活用した地域の活性化 | | | |
| 方針・目標 | バスケの街づくりの推進や特色あるスポーツ事業、全国レベルの大会誘致や支援による交流人口の拡大に努めます。 | | | |
| 事業・取組名 | 1 スポーツを活用した地域づくり 2 スポーツによる交流人口の拡大 3 「バスケの街づくり」を中心としたスポーツによる街づくりの推進 | | | |
| 目標値 | スポーツを活用した、地域のにぎわい創出と大規模スポーツ大会の誘致や支援等に取り組みます。 | | | |
| 事務事業の実績 | 1 スポーツを活用した地域づくり ① のしろチャレンジデー2020は、新型コロナの影響により中止 ② 関係団体と連携したスポーツ合宿等の取り組み。 ※観光振興課所管のスポーツ・文化合宿事業を除く ・市体育協会が中心となり実行委員会を組織し、バスケットボールキャラバンのサマーリーグin能代の招致を計画したが、新型コロナの影響により中止とした。 ・バドミントン日本代表合宿の計画があったが、新型コロナの影響により中止となった。 2 スポーツによる交流人口の拡大 ① 関係団体、民間企業等と連携したスポーツによる交流の推進。 ・きみまちの里フェスティバル（きみまち二ツ井マラソン、物産フェア）については、新型コロナの影響により中止となった。 ②新たなスポーツの魅力の発掘及び開発支援 ・H28年度から市体育協会で新しいスポーツとして「バブルサッカー」の取組を継続していたが、令和2年度は、新型コロナの影響により中止とした。 ③大規模なスポーツ大会・イベントと連動した観光誘客 ・能代カップが、新型コロナの影響により中止となった。 3 「バスケの街づくり」を中心としたスポーツによる街づくりの推進 ① 本物のバスケに触れられる街づくり ・bリーグ秋田ノーザンハピネッツ（プロバスケ）のホームゲームが12月に開催された。 ②バスケで誰もが集える環境づくり ③バスケによる地域経済の活性化 ④バスケがどこでも感じられる街づくり ・能代カップ等への補助金の交付や、市教育長杯ミニバスケットボール大会等の事業を市体育協会等に委託し継続した。 ※能代カップ：R2新型コロナにより中止 ・屋外バスケットリングの設置 市内公園等 22カ所25基（R2末） | | | |
| 点検・評価 | 対象年度 | R 1 | R 2 | A 目標を上回る B ほぼ目標どおり |
| | 評価 | A | — | C 目標をやや下回る D 目標を大幅に下回る |
| | [説明] ・新型コロナの影響により計画どおりの事業を実施することが出来なかったため、評価を見送った。 | | | |

| | |
|----------------------|--|
| <p>課題及び今後の取組の方向性</p> | <p><input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> その他 ()</p> <p>[具体的な課題及び取組]</p> <p>1 スポーツを活用した地域づくり 関係団体等と連携し、引き続き各種事業の推進及び支援を図っていく。</p> <p>2 スポーツによる交流人口の拡大 ・スポーツイベントは競技団体が主体となることが多いことから情報収集し、円滑な運営をしていくよう引き続きノウハウの蓄積に努める。 ・市民への情報発信の方法（広報、市ホームページ、SNS等）について、関係団体と連携し、効率的な伝え方を工夫していく。</p> <p>3 「バスケの街づくり」を中心としたスポーツによる街づくりの推進 関係団体等と連携し、引き続き各種事業の推進及び支援を図っていく。</p> |
| <p>学識経験者の意見</p> | <p>○コロナ禍では各種の事業の中止は致し方ないところであり、コロナ禍及び新しい生活様式の中での事業の在り方について検討していただきたい。</p> <p><input type="checkbox"/> 新型コロナの影響によりほとんどの事業が中止になりましたが、現在の計画内容を見直して継続の方向で進めてください。</p> <p><input type="checkbox"/> バasketボールサマーキャンプ、バドミントン日本代表合宿の計画はスポーツを活用した地域づくりに貢献しています。今後は、多くの種目で能代市開催計画を推し進め、活性化につなげてください。</p> <p><input type="checkbox"/> 「バスケの街づくり」を中心としたスポーツによる街づくりの推進として①②③④を目標に掲げていますが、ねらいに即した取り組みが弱いように思えます。ダイナミックな戦略が必要と考えます。</p> <p><input type="checkbox"/> きみまちの里フェスティバルだけにとどまらず、風の松原フェスティバルなど、新たなイベントも考えみてはどうでしょうか。</p> |

| | | | | |
|--|--|-----|-----|------------------------|
| 基本目標 | 5 スポーツで輝く夢のあるまちづくりの推進 | | | |
| 施策項目 | ④ 市民が主体的に参画できるスポーツ環境の整備 | | | |
| 方針・目標 | 総合型クラブの設立支援と地域スポーツ指導者等の人材育成に努めるとともに、安全で利便性の高い施設の充実を図ります。 | | | |
| 事業・取組名 | 1 地域のスポーツ指導者等の充実 2 スポーツ施設の充実 3 スポーツに関する表彰制度の整備 | | | |
| 目標値 | スポーツ関係団体等と連携し、地域のスポーツ指導者等の充実に努め、併せて安全で利便性の高い施設の充実を図ります。 | | | |
| 事務事業の実績 | 1 地域のスポーツ指導者等の充実 ①地域のスポーツ指導者の育成と活用 <ul style="list-style-type: none"> ・市スポーツ推進委員会、市体育協会、市スポーツ少年団等研修会の開催や派遣を行った。 ・研修会参加等の支援を行った。 ・スポーツ少年団指導者資格数 39団体 280人 (R1: 40団体 325人) ②スポーツリーダーバンク等の整備・充実の支援 <ul style="list-style-type: none"> ・市体育協会スポーツリーダーバンク登録者数 12団体 28人 2 スポーツ施設の充実 ①スポーツ施設の整備・改修 <ul style="list-style-type: none"> ・グラウンドゴルフ場の整備 (R4.10供用開始に向け整備を進めている) ②学校体育施設等の活用 <ul style="list-style-type: none"> ・登録スポーツクラブ制度により、学校体育館開放を継続して行った。 (淳西小、淳南小、四小、五小、向小) ③利用者ニーズに対応した施設の管理運営と利用促進 <ul style="list-style-type: none"> ・指定管理者による定期点検など安全管理を行っている。 ・施設利用者アンケートの結果を反映して改善に努めた。 ・施設年間利用者数 R2: 216,998人 (R1: 314,470人) ※新型コロナの影響により休館や事業の中止があったため減。 ④自然環境や屋外施設を活用したスポーツと健康づくりの推進 <ul style="list-style-type: none"> ・市主催 のしろ歩け歩け大会 (新型コロナにより中止) ・指定管理者 マリンスポーツ教室 (米代川河口付近) 3 スポーツに関する表彰制度の整備 児童・生徒の表彰 (能代市栄光賞、市体育協会スポーツ賞) を継続して行った。 ※新型コロナの影響により授与式は中止 | | | |
| 点検・評価 | 対象年度 | R 1 | R 2 | A 目標を上回る B ほぼ目標どおり |
| | 評価 | B | B | C 目標をやや下回る D 目標を大幅に下回る |
| [説明] ・各種研修会の開催や派遣を実施・支援することにより、指導者やリーダーの育成と資質の向上を図った。 ・施設の整備等により、利用者が良好なコンディションで競技できる環境整備を図った。 ・体育施設の管理運営に関し、アンケート結果を反映して改善に努めたことにより、利用者ニーズへの対応が図られた。 ・大会等における成績優秀者への表彰を行うことにより、児童・生徒のスポーツに対する意欲の喚起を図った。 | | | | |

| | |
|--------------------------------|---|
| <p>課題及び 今後の取組の 方向性</p> | <p><input type="checkbox"/>拡充 <input checked="" type="checkbox"/>継続 <input type="checkbox"/>廃止検討 <input type="checkbox"/>その他（ ）</p> <p>[具体的な課題及び取組]</p> <p>1 地域のスポーツ指導者等の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スポーツ環境を整備する上で指導者の養成・確保は重要であり、そのための研修会や人材の発掘等については、引き続き各団体と連携し取り組んでいく。さらに、養成した指導者を効果的に活用するよう市体育協会のスポーツリーダーバンク等による指導者の派遣を行っていく。 <p>2 スポーツ施設の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・適切な施設の維持管理を行う。 ・経年劣化している施設の整備について、計画的な修繕及び改修を行う。 ・長寿命化計画に基づき施設の改修計画の検討を行う。 |
| <p>学識経験者 の意見</p> | <p>○財政的には厳しい中ではあるが、スポーツ施設の充実に努め、利用者の安全も確保していただきたい。</p> <p>○中学校の部活動との連携も検討していただき、部活動指導員の充実をお願いしたい。</p> <p>□地域のスポーツを活性化させるためには、指導者の人材育成は必須条件です。引き続き継続、充実を図っていただきたいと思います。</p> <p>□「能代市栄光賞、市体育協会スポーツ賞」の受賞は、児童生徒にとって大きな自信となる賞です。運動面・文化面を受賞の対象としている点が、文武両道の精神を目指した表彰制度となっています。</p> |

Ⅲ 教育委員会の運営状況

(1) 教育委員会の開催状況

① 開催状況

定例会 12回 臨時会 3回

② 審議された案件等

| 年月日 | 区分 | 番号 | 件名 |
|-----------|-----|---------|---|
| R2. 4. 23 | 定例会 | 承認 第3号 | 臨時代理の承認について (能代市教育委員会事務局組織規則の一部改正について) |
| | | 承認 第4号 | 臨時代理の承認について (能代市教育委員会職員の職名に関する規則の一部改正について) |
| | | 承認 第5号 | 臨時代理の承認について (能代市教育委員会事務局処務規程の一部改正について) |
| | | 承認 第6号 | 臨時代理の承認について (能代市教育委員会事務決裁規程の一部改正について) |
| | | 議案 第30号 | 能代市学校運営協議会委員の任命について |
| | | 議案 第31号 | 能代市教育支援委員会委員の任命について |
| | | 議案 第32号 | 能代市地域学校協働活動推進員の委嘱について |
| | | 議案 第33号 | 能代市公民館活動協力員の委嘱について |
| | | 議案 第34号 | 令和2年度能代市教育委員会関係職員の人事異動の発令について(追加) |
| R2. 5. 25 | 定例会 | 承認 第7号 | 臨時代理の承認について (能代市教育委員会事務局処務規程の一部改正について) |
| | | 承認 第8号 | 臨時代理の承認について (能代市教育委員会事務決裁規程の一部改正について) |
| | | 承認 第9号 | 臨時代理の承認について (能代市教育長の給与、勤務時間その他勤務条例に関する条例の一部改正について) |
| | | 承認 第10号 | 臨時代理の承認について (能代市一般会計補正予算) |
| | | 議案 第35号 | 能代市立中学校部活動指導員配置要綱の制定について |
| | | 議案 第36号 | 能代市社会教育委員の委嘱について |
| | | 議案 第37号 | 能代市公民館運営審議会委員の委嘱について |
| | | 議案 第38号 | 能代市子ども館運営協議会委員の委嘱について |
| | | 議案 第39号 | 能代市文化会館運営協議会委員の委嘱について |
| | | 議案 第40号 | 令和2年度能代市一般会計補正予算案に対する意見の申出について |

| | | | |
|------------|-----|-----------|--|
| | | 議案 第 41 号 | 能代市二ツ井公民館分館長の委嘱について |
| | | 議案 第 42 号 | 能代市二ツ井公民館運営委員の委嘱について |
| R2. 6. 25 | 定例会 | 議案 第 43 号 | 能代市立図書館協議会委員の任命について |
| R2. 7. 22 | 定例会 | | なし |
| R2. 7. 30 | 臨時会 | 議案 第 44 号 | 令和 3 年度使用能代市立中学校教科用図書の採択について |
| R2. 8. 24 | 定例会 | 議案 第 45 号 | 能代市教育委員会の事務の管理及び執行の状況の点検及び評価について |
| | | 議案 第 46 号 | 令和 2 年度能代市一般会計補正予算案に対する意見の申出について |
| | | 承認 第 11 号 | 臨時代理の承認について (能代市教育委員会事務局会計年度任用職員の報酬及び給料の額に関する規程の制定について) |
| R2. 9. 24 | 定例会 | | なし |
| R2. 10. 22 | 定例会 | 議案 第 47 号 | 能代市教育支援委員会委員の任命について |
| R2. 11. 20 | 定例会 | 議案 第 48 号 | 能代市農林漁家婦人活動促進施設の指定管理者の指定に対する意見の申出について |
| | | 議案 第 49 号 | 能代市教育長の給与、勤務時間その他勤務条例に関する条例の一部改正について |
| | | 議案 第 50 号 | 令和 2 年度能代市一般会計補正予算案に対する意見の申出について |
| R2. 12. 24 | 定例会 | 議案 第 51 号 | 能代市教育委員会事務局処務規程の一部改正について |
| | | 議案 第 52 号 | 能代市立小、中学校管理規則等の一部改正について |
| | | 議案 第 53 号 | 能代市就学援助支給要綱の一部改正について |
| | | 議案 第 54 号 | 能代市立中学校部活動指導員配置要綱の一部改正について |
| | | 議案 第 55 号 | 能代市学校給食アレルギー対応食の提供に関する要綱の一部改正について |
| R3. 1. 28 | 定例会 | | なし |
| R3. 2. 12 | 定例会 | 議案 第 1 号 | 令和 2 年度能代市一般会計補正予算案に対する意見の申出について |
| | | 議案 第 2 号 | 令和 3 年度能代市一般会計予算案に対する意見の申出について |
| R3. 2. 26 | 臨時会 | 議案 第 3 号 | 令和 3 年度能代市立小・中学校教職員の人事異動について |
| R3. 3. 22 | 臨時会 | 議案 第 4 号 | 令和 3 年度能代市教育委員会関係職員の人事異動の発令について |
| R3. 3. 25 | 定例会 | 承認 第 1 号 | 臨時代理の承認について (能代市一般会計補正予算) |
| | | 議案 第 5 号 | 能代市立小中学校通学区域に関する規則の一部改正について |
| | | 議案 第 6 号 | 能代市文化財保護条例施行規則の一部改正につい |

| | | |
|--|---------|------------------------------|
| | | て |
| | 議案 第7号 | 能代市地域学校協働活動推進員等設置要綱の一部改正について |
| | 議案 第8号 | 能代市文化財等寄贈寄託受入要綱の制定について |
| | 議案 第9号 | 能代市学校医及び学校薬剤師の委嘱について |
| | 議案 第10号 | 能代市スポーツ推進委員の委嘱について |
| | 議案 第11号 | 令和3年度能代市学校教育指導の重点について |
| | 議案 第12号 | 能代市文化財等収集方針について |
| | 報告 第1号 | 令和3年度能代市社会教育施設等運営方針について |

(2) 教育委員の活動状況

| 年月日 | 行 事 |
|------------|--|
| R2. 6. 3 | 能代山本市町教育委員会連合会総会 第1回能代・山本地区教科用図書採択地区協議会 |
| R2. 6. 25 | 教科用図書採択研究会① |
| R2. 7. 10 | 教科用図書採択研究会② |
| R2. 7. 15 | 第2回能代・山本地区教科用図書採択地区協議会 |
| R2. 7. 22 | 教科用図書採択研究会③ |
| R2. 7. 27 | 第3回能代・山本地区教科用図書採択地区協議会 |
| R2. 10. 1 | 能代市教育委員会学校訪問（二ツ井小学校・能代東中学校） |
| R2. 10. 16 | 〃（第五小学校・二ツ井中学校） |
| R2. 10. 27 | 〃（向能代小学校・淳城南小学校） |
| R2. 11. 5 | 〃（第四小学校・東雲中学校） |
| R2. 11. 13 | 〃（浅内小学校・能代第一中学校） |
| R2. 11. 18 | 〃（能代第二中学校） |
| R2. 11. 24 | 全県市町村教育委員会教育長会議 |
| R2. 11. 26 | 能代市教育委員会学校訪問（淳城西小学校・能代南中学校） |
| R3. 1. 15 | 総合教育会議 |
| R3. 3. 14 | 市内中学校卒業式 |
| R3. 3. 16 | 市内小学校卒業式 |

能代市教育委員会事務点検・評価報告書
(令和2年度対象)

能代市教育委員会

〒018-3192

能代市二ツ井町字上台1番地1

(担当 教育総務課)

電 話 0185-73-2757

FAX 0185-73-6459

E-mail kyouiku@city.noshiro.lg.jp